

令和7年度 千曲市地域公共交通状況報告

令和8年6月

本書の構成

本書は、2部で構成される。

第1部は、循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況を評価したものである。

第2部は、千曲市地域公共交通計画に記載された事業の実施状況及び実施結果である。

第1部. 千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの各路線の利用状況を示す。公共交通計画では、市内の交通網を階層に分け、各階層ごとに目標値を設定している。計画期間最終年度の令和10年度にはすべての路線が目標値を上回るよう、路線の改善及び利用促進を図っていく必要がある。

本書では、各路線の利用状況を個別に分析し、今後の改善のポイントを明らかにしていく。

令和6年度より、循環バスに新たにおぼすて棚田・温泉便(観光便)を追加する。(前年度対比においても観光便の利用状況を反映)

第2部. 公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び対応

千曲市地域公共交通計画に掲げる事業について、計画通り事業が実施されているかを評価する。同時に、事業の結果、地域公共交通の利用環境水準に関する目標を達成できたかを評価する。

循環バス乗降調査については、令和7年5月19日から令和7年5月30日の間に実施した数値を計上している。

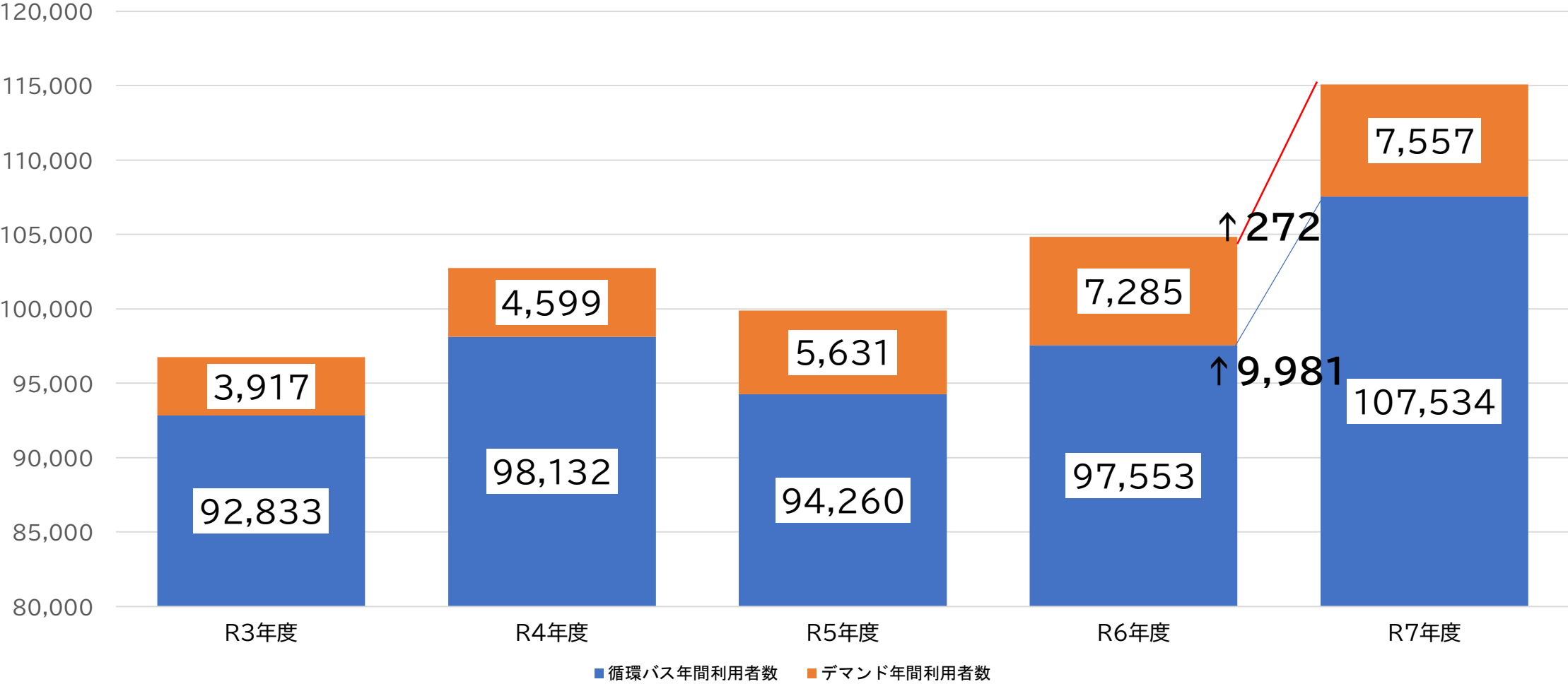
第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

1. 循環バス及びデマンド型乗合タクシーの利用者数の推移（総計）

令和7年度千曲市循環バス及びデマンド型乗合タクシーの総利用者数は115,091人。コロナ禍により令和2年度は約9万人まで落ち込んだが、その後利用者数は増加傾向となり、水準としては令和6年度から約1万人増加、コロナ禍前の平成30年度（118,413人）に近づいている。

なお、循環バスの利用者増加は、大循環線（東/西回り）の利用者の増加（約7.7千人）が大きく影響している。

令和3年度の総利用者数に占めるデマンド利用者の割合は4.0%だったが、年々増加していき、令和7年度は約6.6%となった。

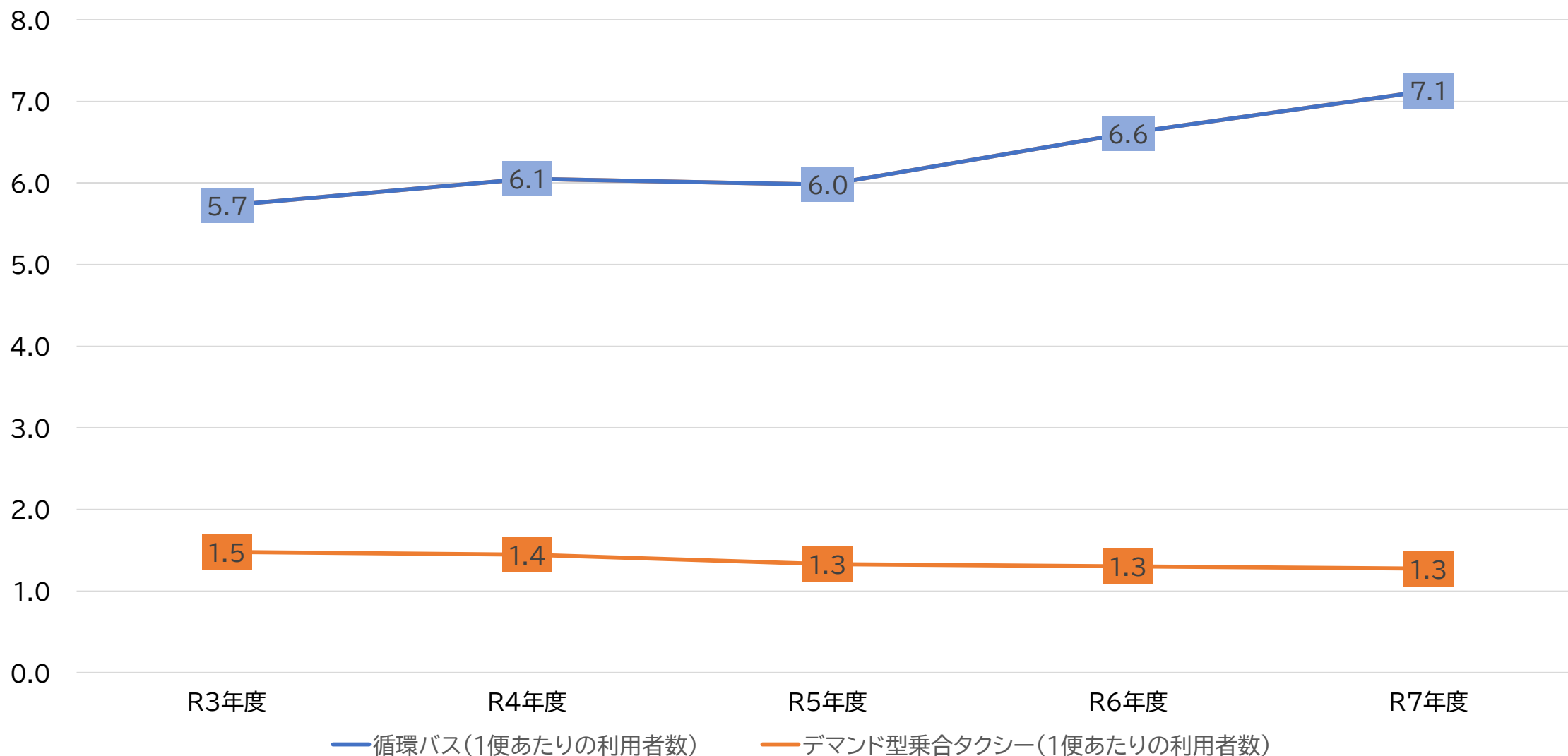


第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

2. 循環バス及びデマンド型乗合タクシーの1便あたり利用者数の推移（総計）

令和7年度千曲市循環バスの1便あたりの利用者数は7.1人。コロナ禍前の水準（H27以降：6.1～6.6）を超えている。

デマンド型乗合タクシーの1便あたりの利用者数は1.3人。微小ではあるが減少傾向にある。「稲荷山・八幡エリア」「更級エリア」「上山田エリア」では増加傾向にあるが、利用者の一番多い「東部エリア（67.5%）」での減少傾向の影響が大きい。



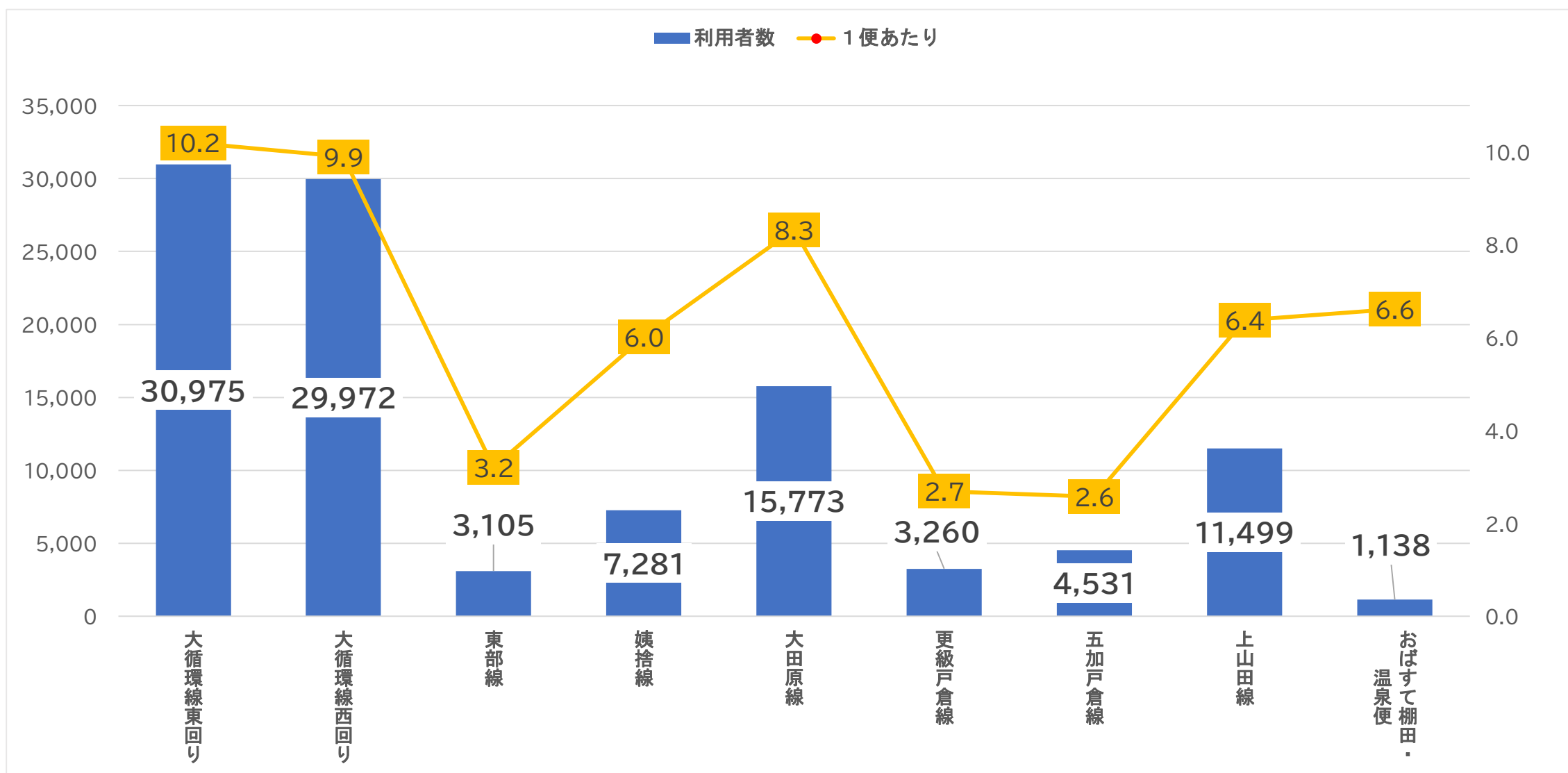
第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

3-1. 循環バスの路線ごとの利用者数

大循環線（東・西回り）バスの利用者数は60,947人であり、循環バス全体の総利用者数の56.7%を占める。市内幹線として一定の役割の機能を果たしていることがうかがえる。

次いで大田原線が全体の総利用者数の14.7%、上山田線は10.7%を占める。

1便あたりの利用者数においては、大循環線が平均の7.1人を大きく上回り、大田原線においても平均を上回る。



第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

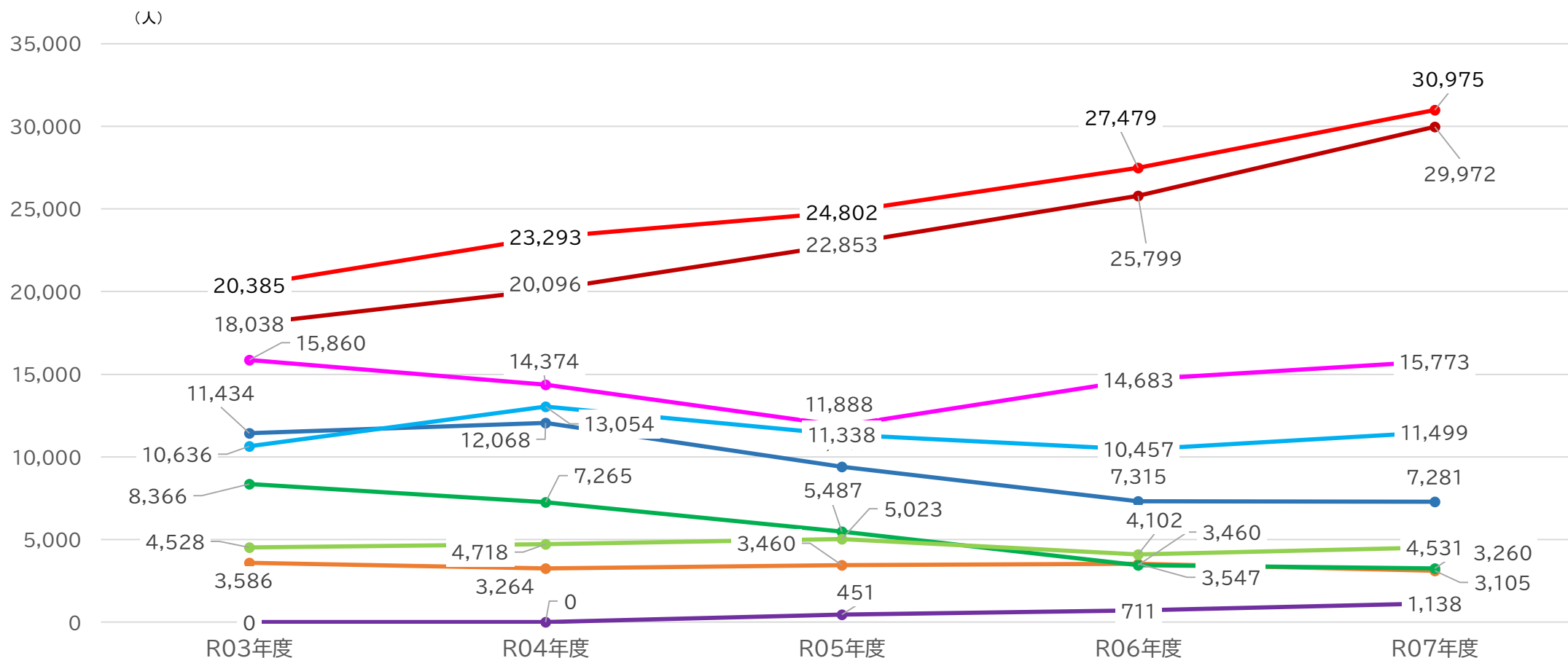
3-2. 循環バスの路線ごとの利用者数の推移

大循環線（東・西回り）の利用者は毎年増加しており、令和3年度と比べると158.6%、令和6年度と比べると114.4%となっている。

更級戸倉線及び姨捨線については、減少傾向にあり、令和7年度の利用者数において、令和3年度と比較するとそれぞれ39.0%、63.7%となっている。

○増加傾向：大循環線、おばすて棚田・温泉便

○減少傾向：更級戸倉線、姨捨線



路線	R3比
大循環線東回り	151.9%
大循環線西回り	166.2%
東部線	86.6%
姨捨線	63.7%
大田原線	99.5%
更級戸倉線	39.0%
五加戸倉線	100.1%
上山田線	108.1%
おばすて棚田・温泉観光便	-

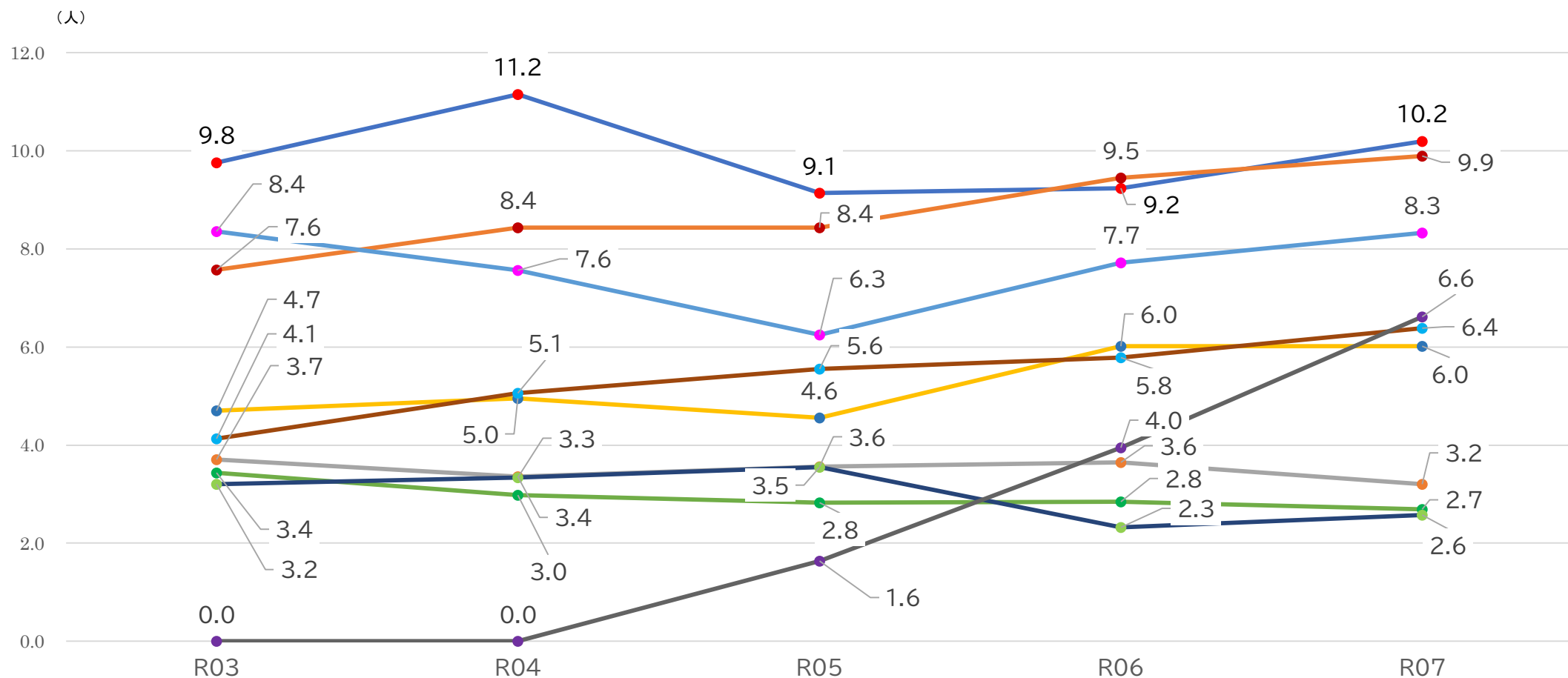
第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

3-3. 路線別1便あたり利用者数の推移

大循環線西回り及び上山田線、おぼすて棚田・温泉便については増加傾向となっている。

更級戸倉線においては緩やかだが減少傾向。他路線においては明らかに増加又は減少している傾向は見られない。

先述したが、路線全体で見ると年々増加傾向にある。



● 大循環線東
 ● 大循環線西
 ● 東部線
 ● 姨捨線
 ● 大田原線
 ● 更級戸倉線
 ● 五加戸倉線
 ● 上山田線
 ● おぼすて棚田・温泉便

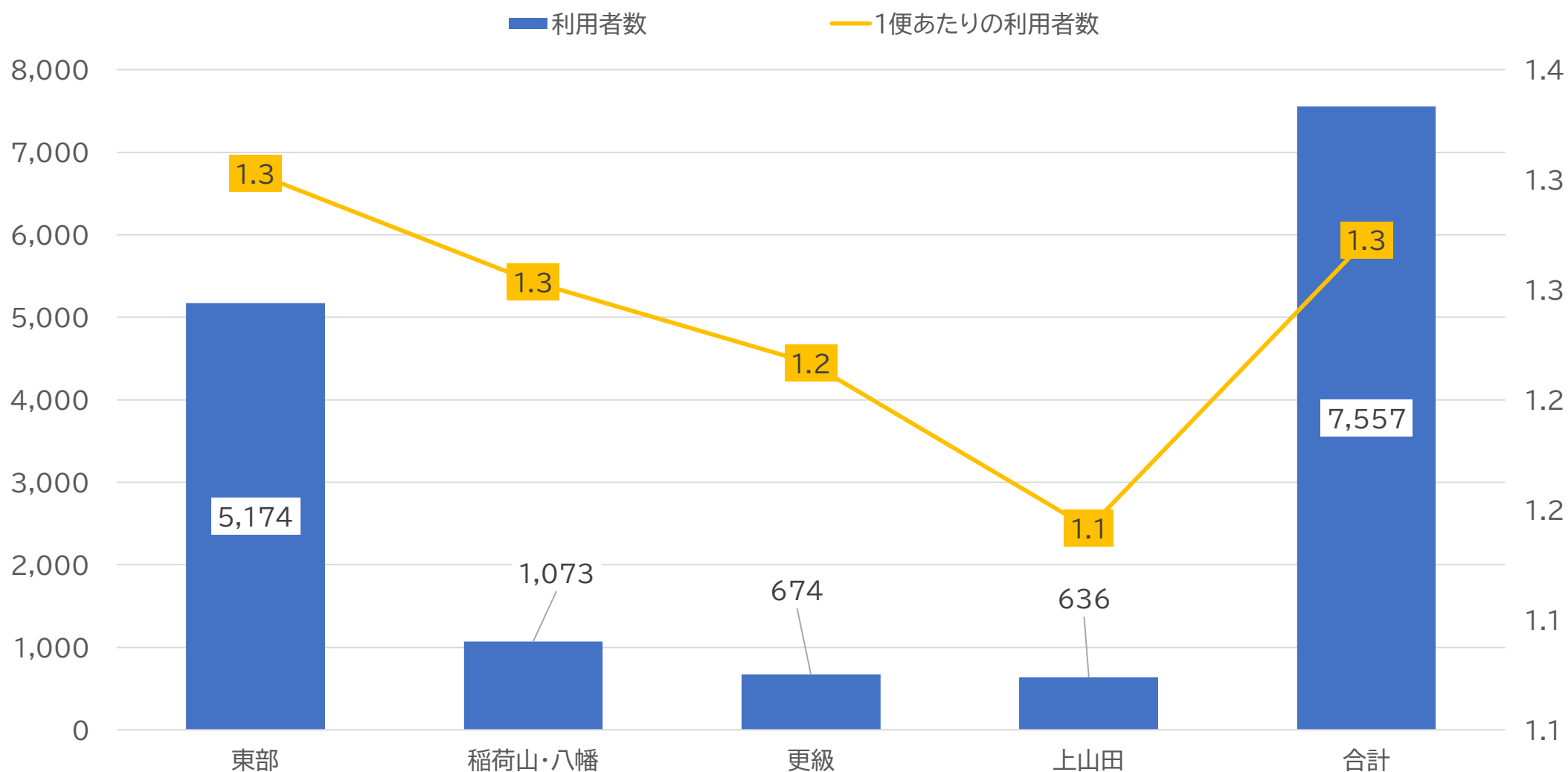
第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

4. デマンド型乗合タクシーのエリアごとの利用者数

令和7年度において、利用者総数は7,557人。本格運行の東部エリアの利用者数が全体の者数の68.5%を占める。

実証期間中の3エリアにおいては令和5年度の9月から運行を開始しており、前年度1,786人から2,383人（133.4%）となっている。

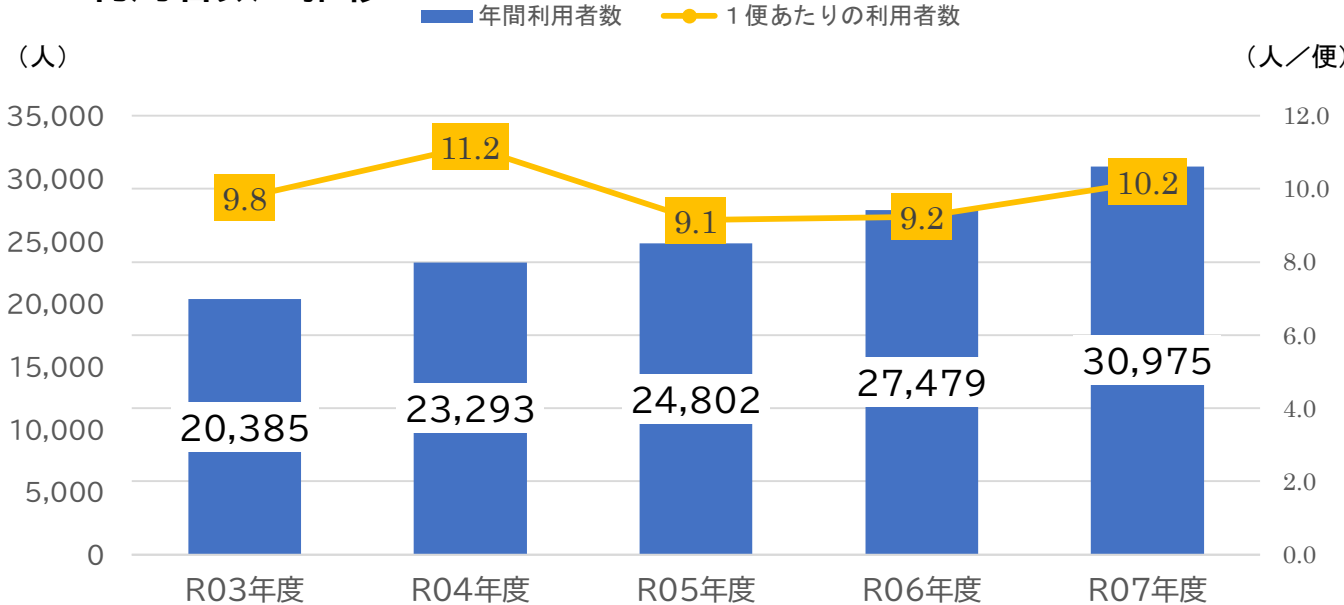
乗合率については、全エリア平均で1.3人。更級エリア、上山田エリアではそれぞれ1.2人、1.1人となっている。利用者が少ないほど乗合率は低い傾向にある。



1 大循環線（東回り）		市内幹線	
運行事業者	(有)シンリク観光、(有)信州観光バス		
車両	ちくま号、やまびこ号		
運行日	平日・土曜日・祝日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜(祝日)	日曜
	11便	6便(5便)	運休
備考	年間運行日数:307(293)日 年間運行便数:3,037(2,973)便 ※()内は前年度		

令和7年度から祝日の運行（5便/日）を再開した。利用者数は増加傾向。1便あたりの利用者数は、利用者数及び便数の増加割合と比べると伸び率は鈍化。

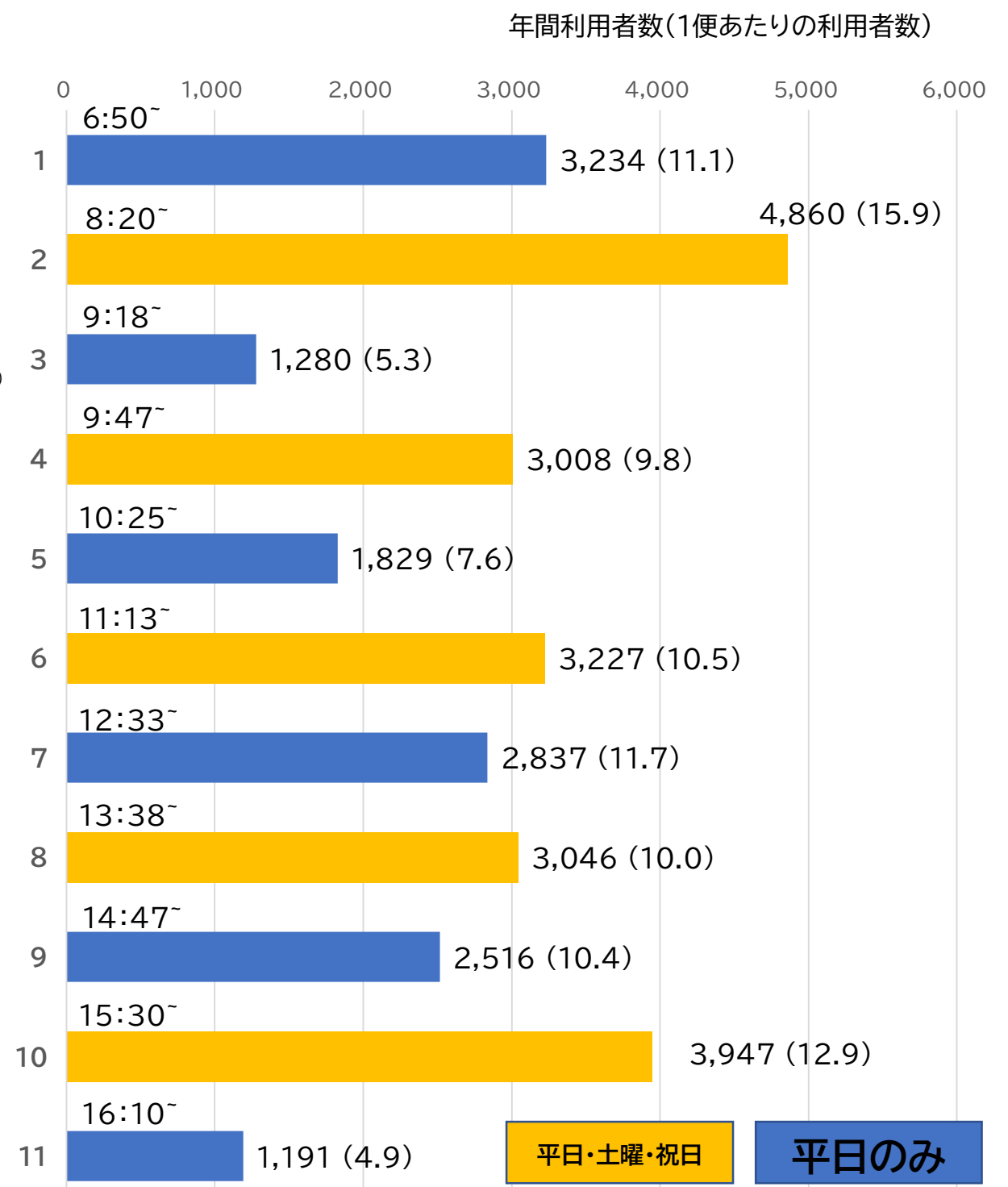
1. 利用者数の推移



年月	見直しの内容
令和2年4月	・夕便(7便)を廃止
令和5年9月	・デマンド導入に伴い平日を6→11便に増便
令和6年4月	・日曜、祝日を運休
令和7年4月	・祝日の運行を再開
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2-1. 便別利用者数

利用者数は2便（8：20～）が最も多く、次いで10便（15：30～）となっている。また、11便（16：10～戸倉駅止まり）が最も少なく、次いで3便（戸倉駅発 9：18～）となっている。ほとんどの便で1便あたりの利用者数は全体平均値（7.1人）を超えている。



1 大循環線（東回り）

市内幹線

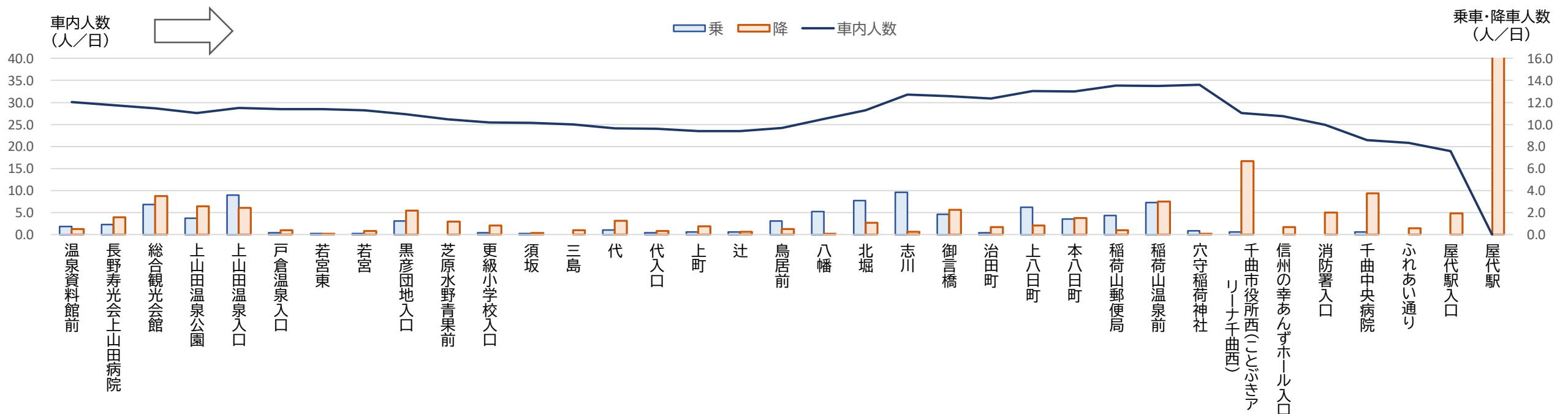
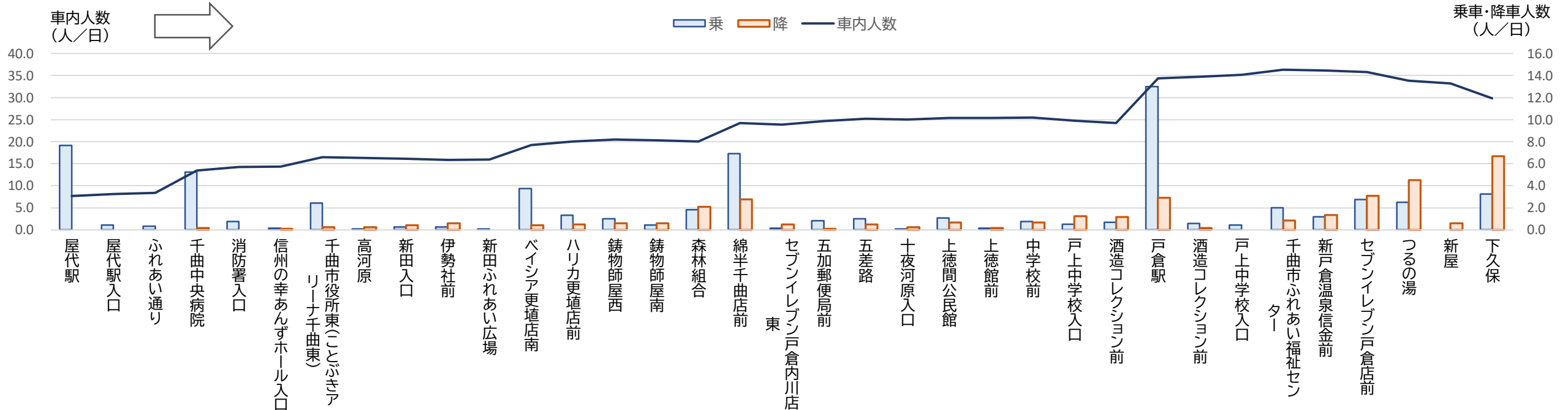
運行事業者	(有)シンリク観光、(有)信州観光バス		
車両	ちくま号、やまびこ号		
運行日	平日・土曜日・祝日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜（祝日）	日曜
	11便	6便(5便)	運休
備考	年間運行日数:307(293)日 年間運行便数:3,037(2,973)便 ※()内は前年度		

乗車：戸倉駅（13.3%）が最も多く、次いで屋代駅（7.8%）、綿半(7.1%)。店舗ではベイシア（3.8%）。医療機関では千曲中央病院（5.4%）、寿光会上山田病院（0.9%）。

降車：屋代駅（19.3%）が最も多く、次いで市役所西・下久保（6.8%）、つるの湯（4.6%）。店舗では綿半（2.8%）、ベイシア（0.4%）。医療機関は千曲中央病院（0.2%）、寿光会上山田病院（1.6%）。

車内人数：戸倉駅からつるの湯、稲荷山郵便局から市役所西間でピークを迎える。

2-2. バス停別乗降人数（対象者数：1,175人）



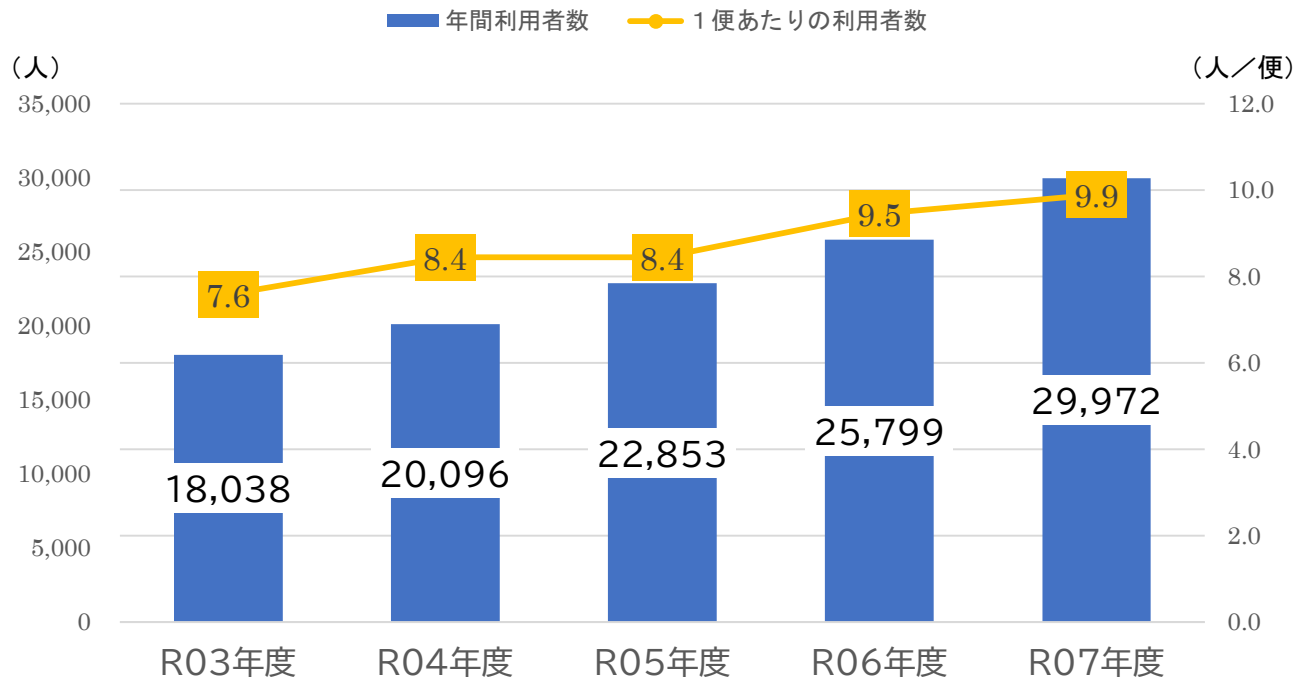
2 大循環線（西回り）

幹線

運行事業者	(有)シンリク観光、(有)信州観光バス		
車両	ちくま号、ほっとバス		
運行日	平日・土曜日・祝日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜（祝日）	日曜・祝日
	10便	6便（5便）	運休
備考	年間運行日数:307(293)日 年間運行便数:3,028(2,730)便 ※()内は前年度		

令和7年度から祝日の運行（5便/日）を再開した。利用者数は増加傾向。1便あたりの利用者数は、利用者数及び便数の増加割合と比べると伸び率は鈍化。

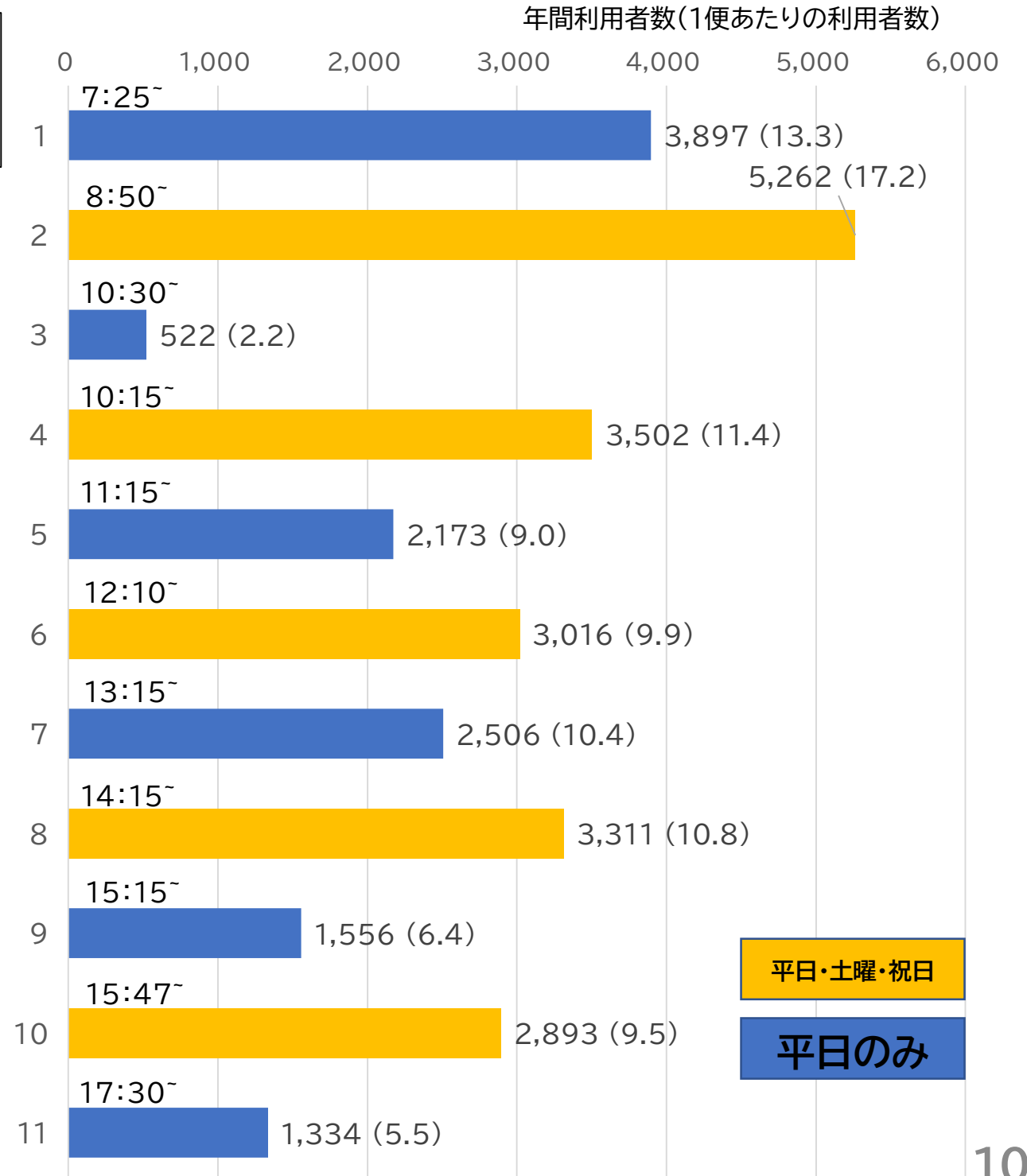
1. 利用者数の推移



年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド実証運行に伴い平日を7→10便に増便
令和6年4月	・日曜、祝日を運休
令和7年4月	・祝日運行を再開 ・戸倉駅から屋代駅を結ぶ第3便を追加
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2-1. 便別利用者数

東回り同様利用者数は2便（8：50～）が最も多く、次いで1便（7：25～）と続く。傾向としては午前中の利用者が多い。3便（10：30～ 戸倉駅発）及び11便（17：30～）が少なく、次いで9便（15：15～ 戸倉駅止まり）が少ない。ほとんどの便で1便あたりの利用者数は全体平均値（7.1人）を超えている。



平日・土曜・祝日
平日のみ

2 大循環線（西回り）

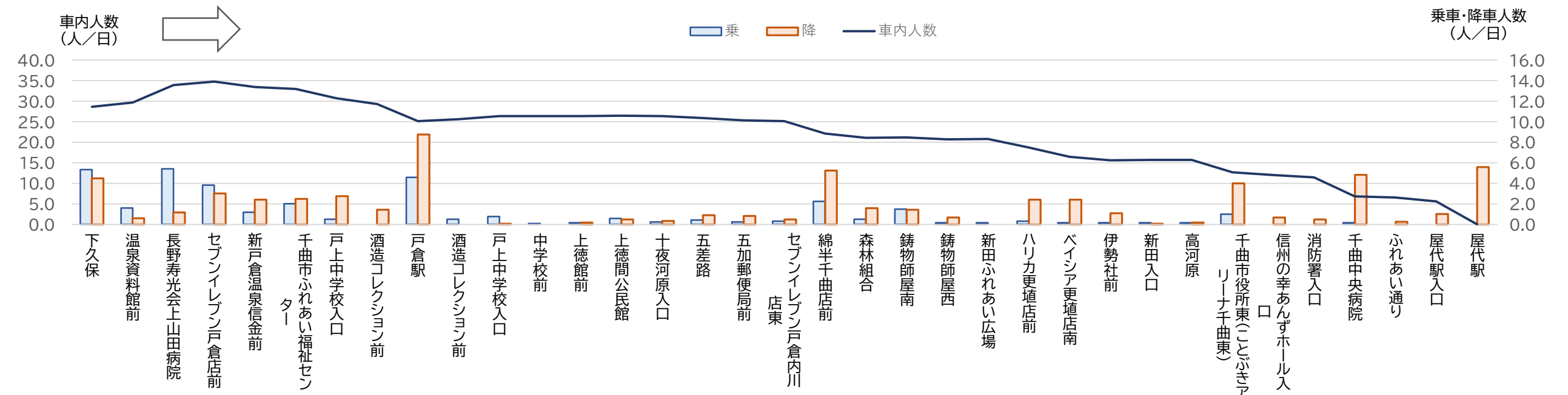
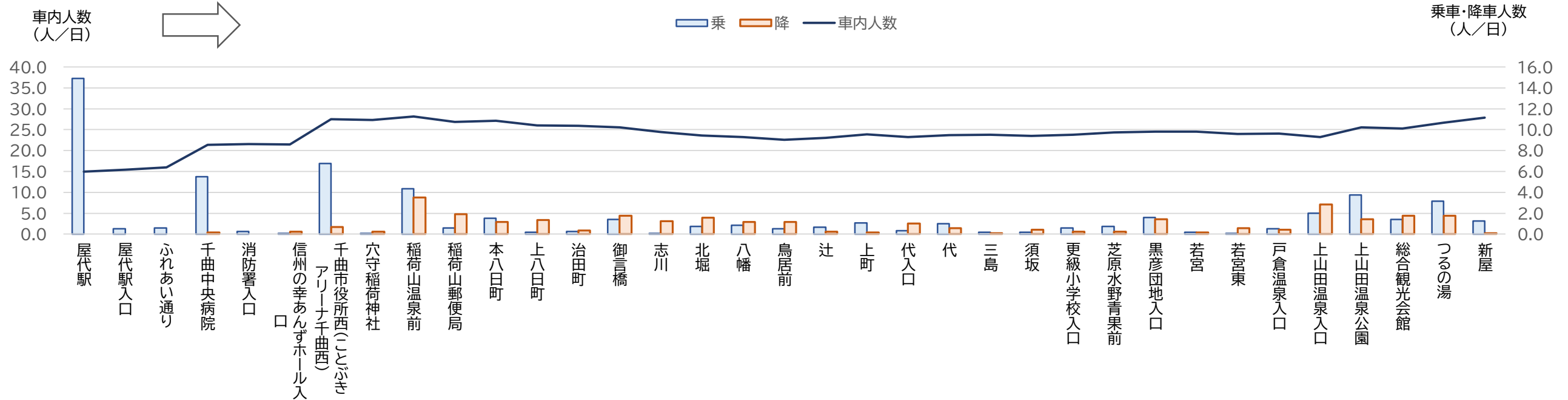
幹線

運行事業者	(有)シンリク観光、(有)信州観光バス		
車両	ちくま号、ほととバス		
運行日	平日・土曜日・祝日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜(祝日)	日曜・祝日
	10便	6便(5便)	運休
備考	年間運行日数:307(293)日 年間運行便数:3,028(2,730)便 ※()内は前年度		

乗車：屋代駅（16.2%）が最も多く、次いで市役所西（7.3%）千曲中央病院（6.0%）。店舗では綿半（2.4%）、ベイシア（0.2%）。医療機関では寿光会上山田病院（5.9%）。

降車：戸倉駅（9.5%）が最も多く、次いで屋代駅（6.1%）、綿半（5.7%）。店舗ではベイシア（2.6%）。医療機関は千曲中央病院（5.4%）、寿光会上山田病院（1.3%）。
車内人数：新屋から戸倉駅間でピークを迎える。

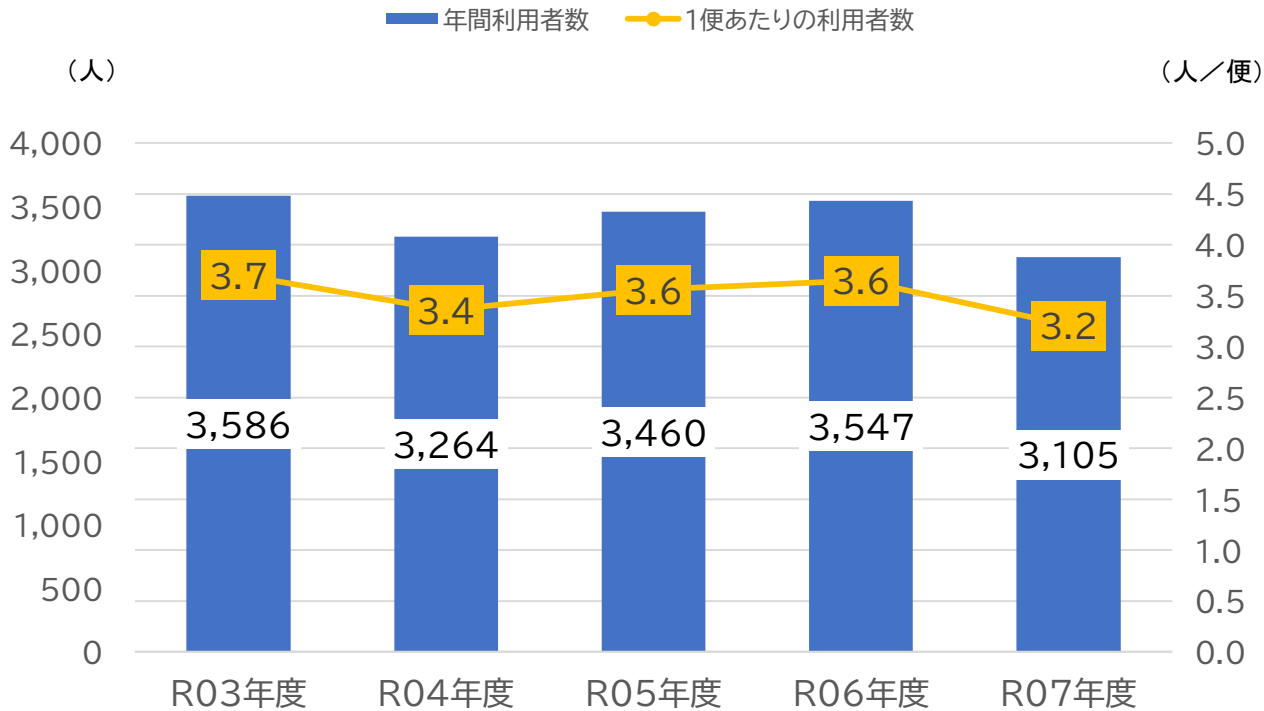
2-2. バス停別乗降人数(対象者数:1,107人)



3 東部線		支線
運行事業者	更埴観光タクシー(株)	
車両	めぐりきり号	
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)	
便数	平日	土曜・日曜・祝日
	4便	運休
備考	年間運行日数:242(243)日 年間運行便数:968(972)便 ※()内は前年度 日中はデマンド型乗合タクシーが運行している。 1便は通学に配慮した早朝の短経路便。森から倉科でフリー乗降区間設定あり。	

デマンド導入に伴い運行は朝と夕方のみ。
利用者数、1便あたりの利用者数については令和7年度は低調となっている。

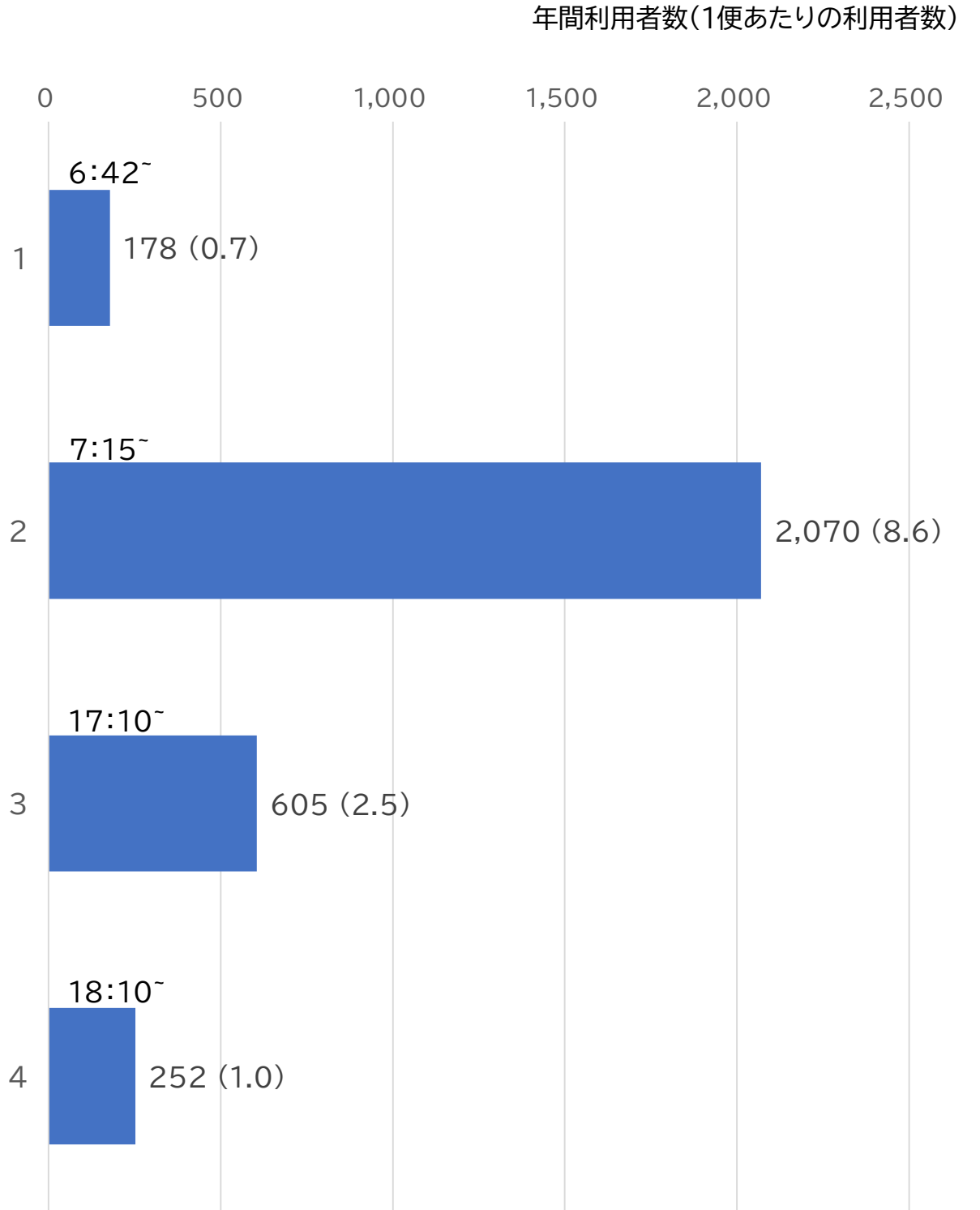
1. 利用者数の推移



年月	見直しの内容
令和元年10月	・3,4便の曜日限定便を廃止
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2-1. 便別利用者数

2便 (7:15～) が突出して多い。
その他の便については利用者も少なく1便あたりの利用者数も全体平均値 (7.1人) を大きく下回る。



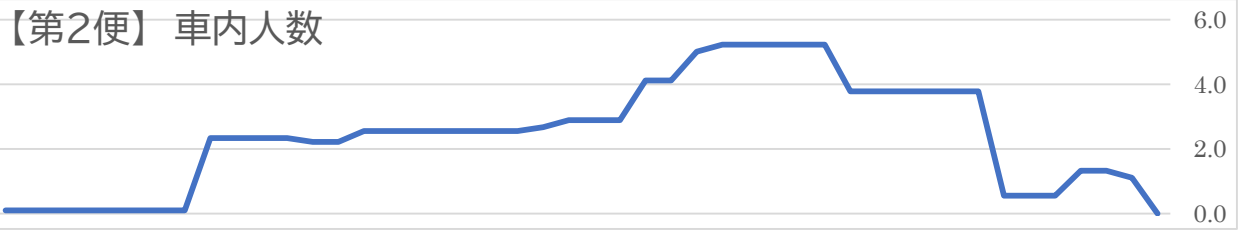
3 東部線		支線
運行事業者	更埴観光タクシー(株)	
車両	めぐりきり号	
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)	
便数	平日	土曜・日曜・祝日
	4便	運休
備考	前頁参照	

乗車：妻女台団地中央 (19.0%) が最も多く、次いで屋代駅 (16.2%)、屋代高校前駅 (12.4%)、駐在所前 (10.5%) と続く。千曲中央病院・市役所西ともには 6.7%。

降車：屋代駅 (31.4%) が最も多く、次いで屋代高校前駅 (21.0%)、市役所西と駐在所前 (10.5%) が並ぶ。

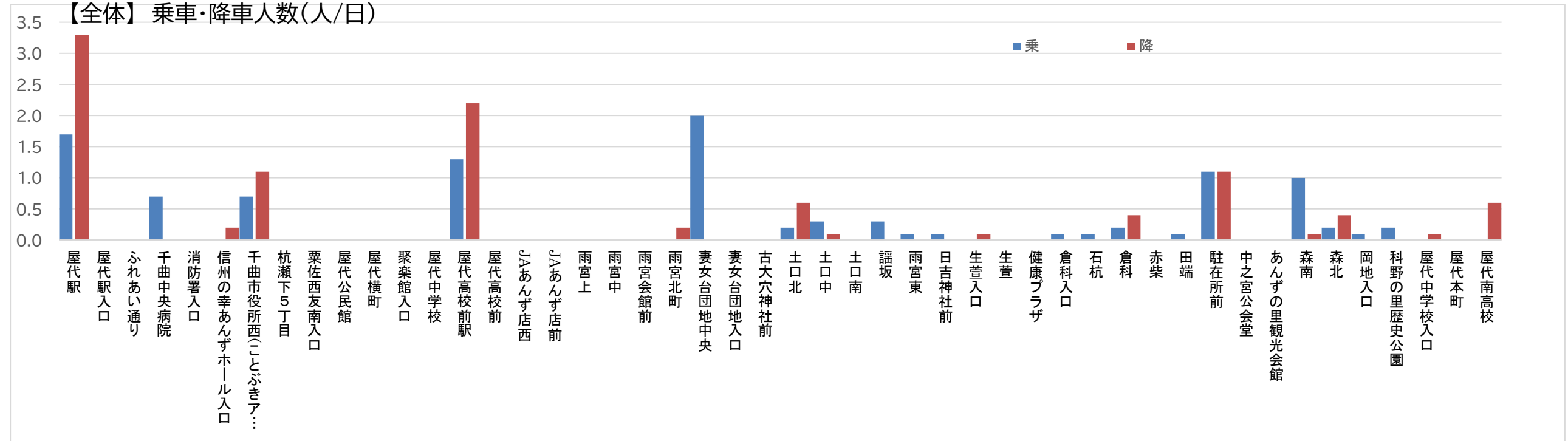
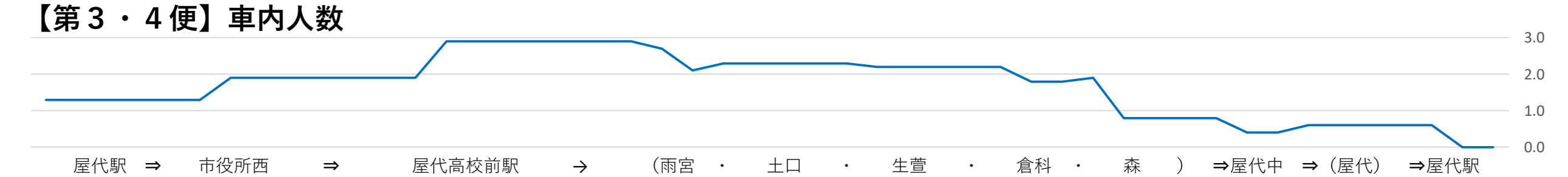
24の停留所で乗降なし。
 車内人数：屋代高校前駅から雨宮北町間でピークを迎える。

2-2. バス停別乗降人数(対象者数:105人)



雨宮会館前 ⇒ (土口・雨宮・生萱・倉科・森) ⇒ 屋代中学校 ⇒ 屋代高校前駅 (6:42) ⇒ (7:07)

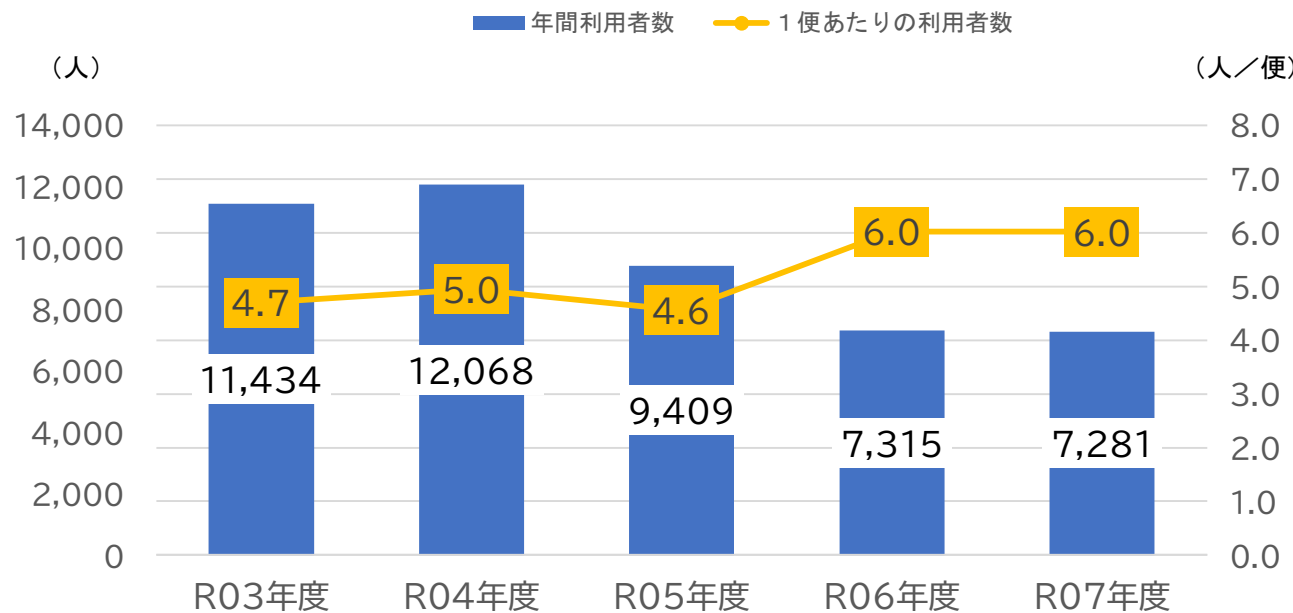
屋代高校前駅 ⇒ (雨宮・土口・生萱・倉科・森) ⇒ 屋代中学校 ⇒ 屋代高校前駅 ⇒ (屋代) ⇒ 屋代駅 ⇒ 市役所 (7:15) ⇒ (8:04)



4 姨捨線		支線	
運行事業者	更埴観光タクシー(株)		
車両	めいげつ号		
運行日	平日(月～金曜日)(12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	5便	運休	
備考	年間運行日数:242(243)日 年間運行便数:1,210(1,215)便 ※()内は前年度		

利用者数は令和5年度のデマンド導入に伴う日中便の廃止により減少した。1便当たりの利用者数は効率化が図られている。

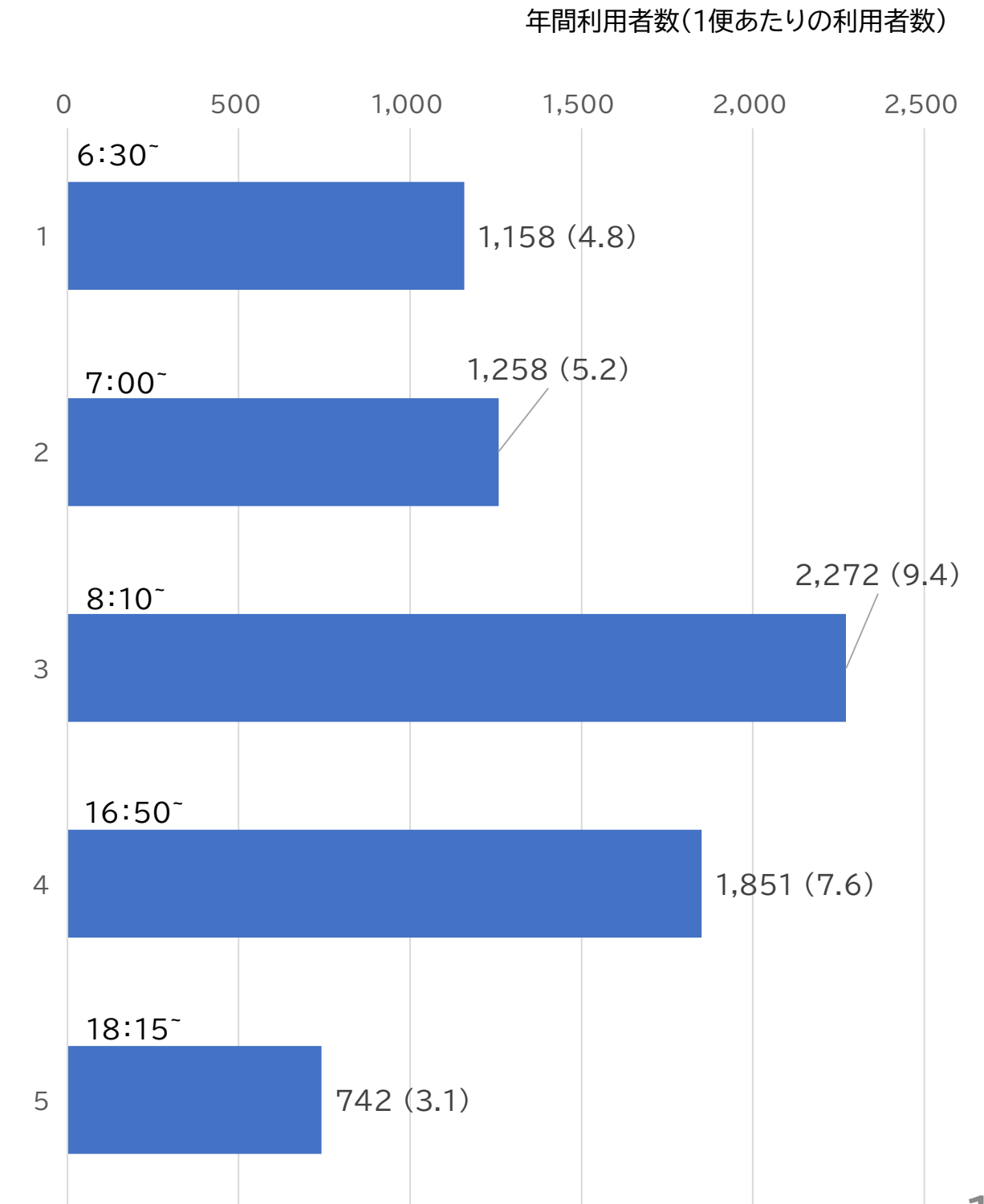
1. 利用者数の推移



年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド導入に伴い平日4～6便を減便
令和6年4月	・フリー乗降区間の廃止 ・土曜日を運休にするとともに西部の路線を廃止、便数を9便から5便に削減
令和7年4月	・大田原線の繰り上げに伴う停留所の追加
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2-1. 便別利用者数

3便(8:10～)が最も多く、次いで4便(16:50～)となっている。
便別の利用者数については、デマンド導入前と大きな変動はなし。(日中の減便した分利用者が減少している)



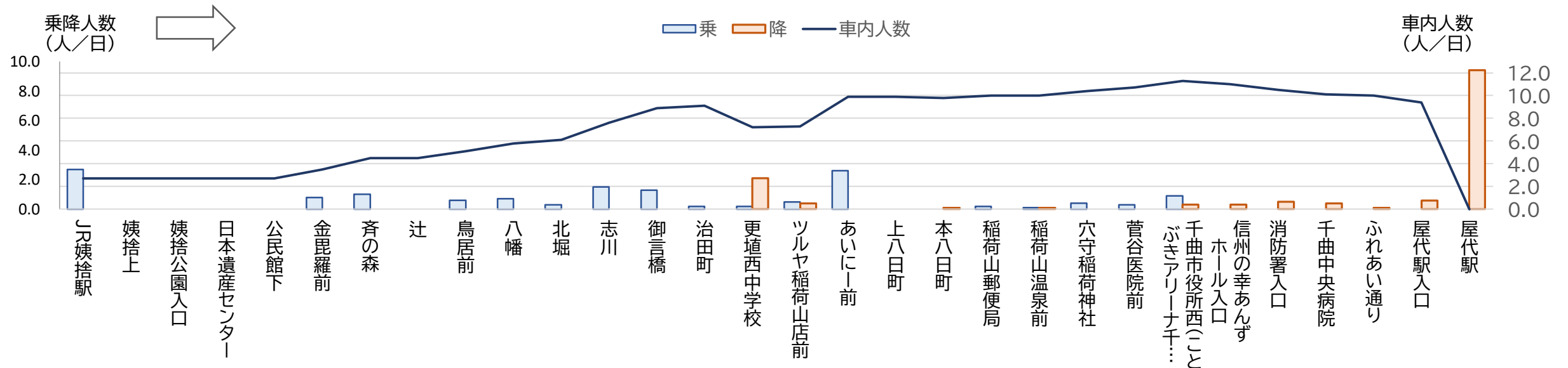
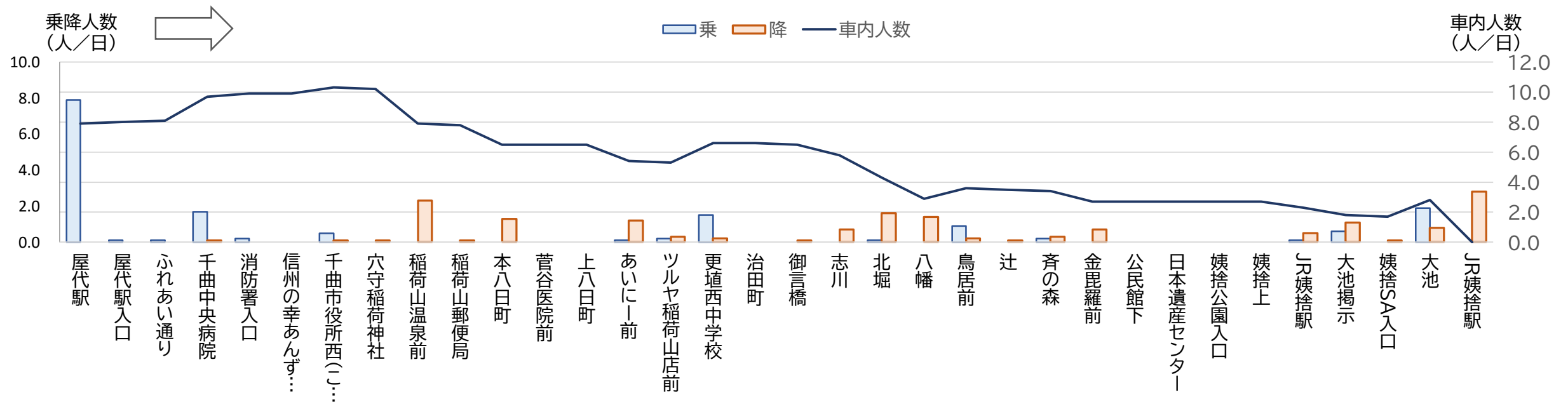
4 姨捨線		支線	
運行事業者	更埴観光タクシー(株)		
車両	めいげつ号		
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	5便	運休	
備考	前項参照		

乗車：屋代駅 (26.0%) が突出して多く、次いでJR姨捨駅 (9.2%)、あいに一前 (8.9%)、大池 (6.3%) と続く。千曲中央病院は5.6%、市役所西は4.6%、ツルヤ前は2.3%。

降車：屋代駅 (30.9%) が突出して多く、JR姨捨駅 (10.9%)、稲荷山温泉前 (7.9%)、更埴西中学校 (7.6%)、北堀 (5.3%) と続く。千曲中央病院は1.6%、市役所西は1.3%、あいに一前は3.9%、ツルヤ稲荷山店前が2.3%。

車内人数：屋代駅から稲荷山郵便局間でピークを迎える。

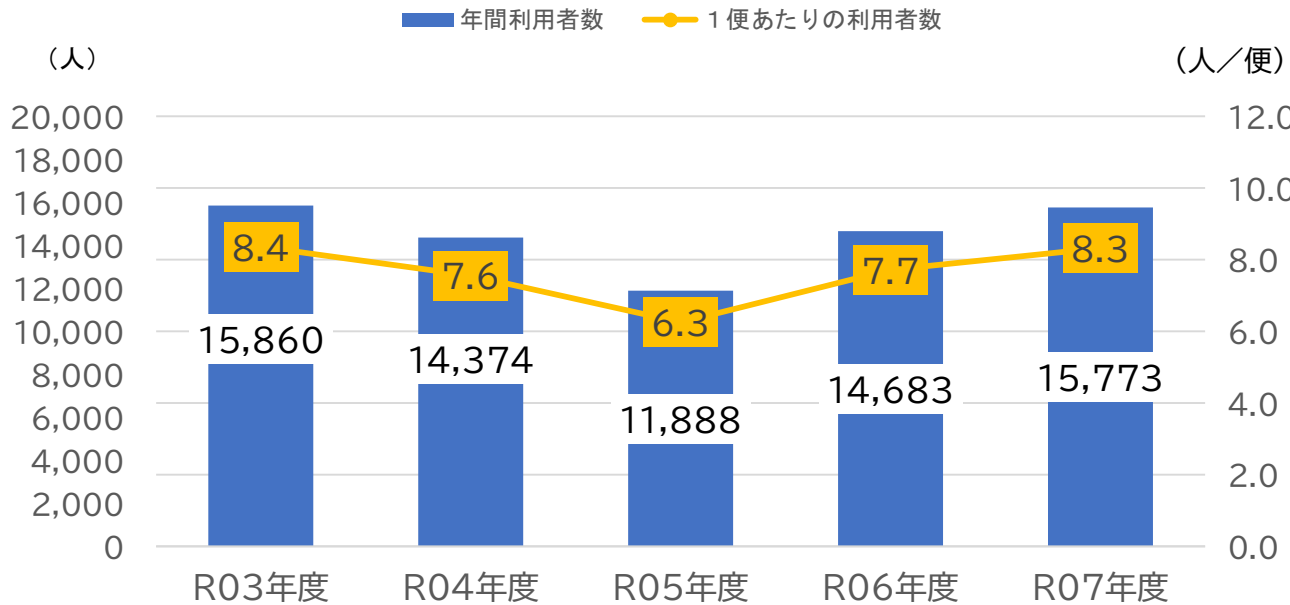
2-2. バス停別乗降人数(対象者数:161人)



5 大田原線		支線	
運行事業者	ヴァリアスバス、(有)シンリク観光		
車両	やまぶき号、ちくま号(1便のみ)		
運行日	平日・土曜日 (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	7便	4便	運休
備考	年間運行日数:292(293)日 年間運行便数:1,894(1,901)便 ※()内は前年度 一部冬期間は運休。令和6年度から運行事業者を変更。1便は発車を中原からとしている。 土曜日は1・2・7便は運休。		

デマンド導入時（令和5年度）の減便により利用者の落ち込みがあったが、令和6年度以降は回復傾向にある。

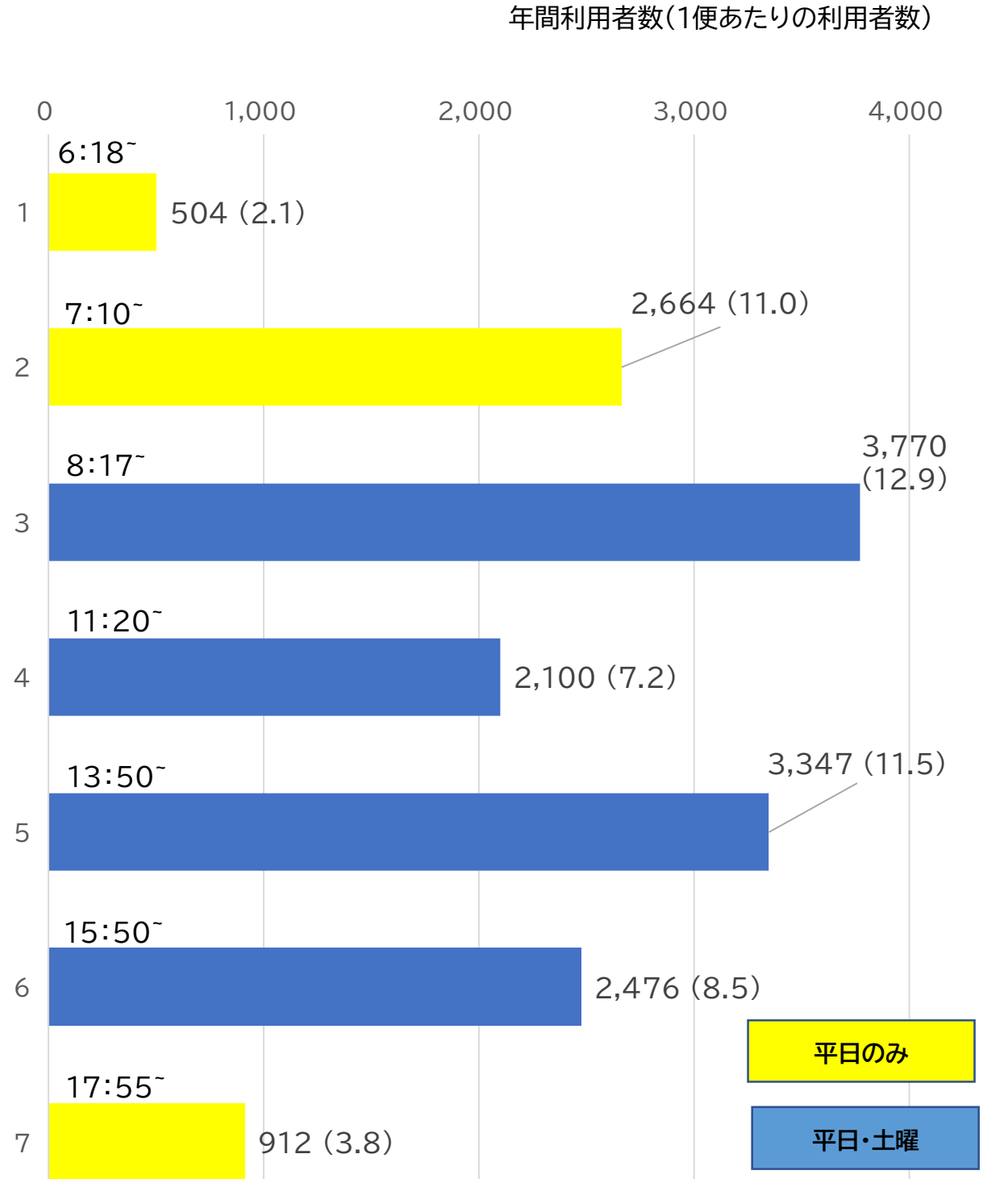
1. 利用者数の推移



年月	見直しの内容
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2-1. 便別利用者数

3便（8：17～）が最も多く、次いで5便（13：50～）、2便（7：10～）となっている。
日中の便は1便あたりの利用者数も全体平均値（7.1人）を上回っている。



5 大田原線

支線

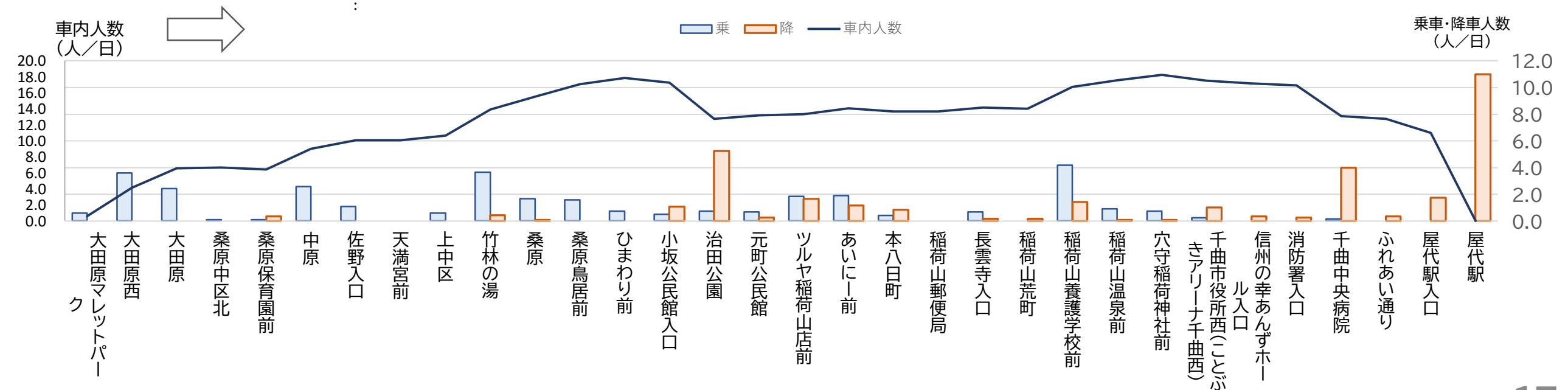
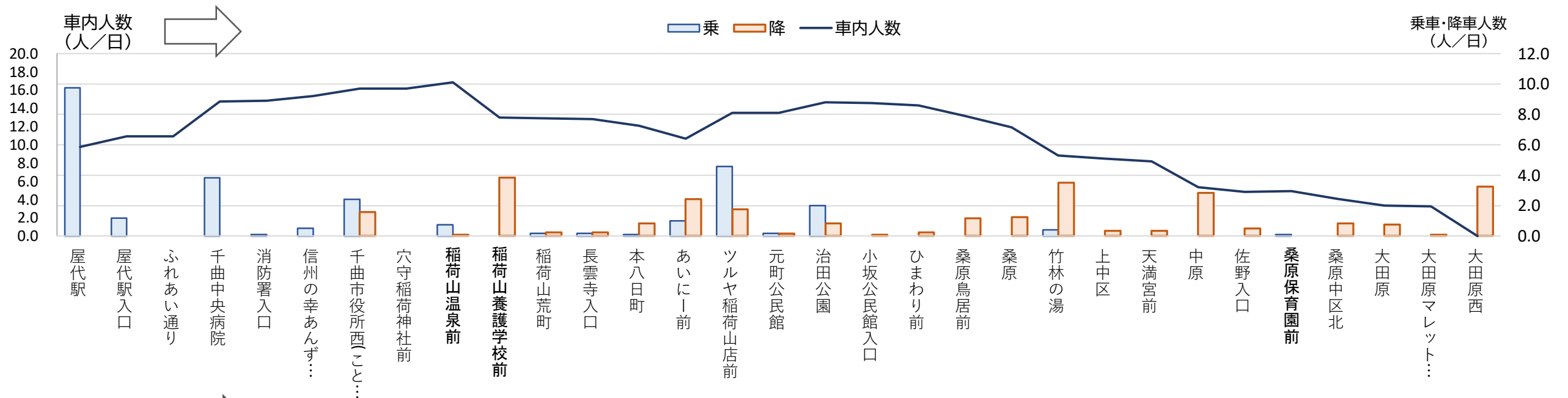
運行事業者	ヴァリアスバス、(有)シンリク観光		
車両	やまぶき号、ちくま号(1便のみ)		
運行日	平日・土曜日 (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	7便	4便	運休
備考	前頁参照		

乗車：屋代駅 (16.6%) が最も多く、次いでツルヤ前 (10.9%)、稲荷山養護学校前 (7.1%)、竹林の湯 (6.9%) と続く。千曲中央病院が6.8%。比較的分散した利用がある。

降車：屋代駅 (18.7%) が最も多く、次いで治田公園 (10.3%)、稲荷山養護学校前 (8.9%)、千曲中央病院 (6.8%)、竹林の湯 (6.7%) と続く。ツルヤ前が5.8%、あいこ一前が6.1%。乗車同様比較的分散した利用がある。

車内人数：稲荷山養護学校前から千曲中央病院前間でピークを迎える。

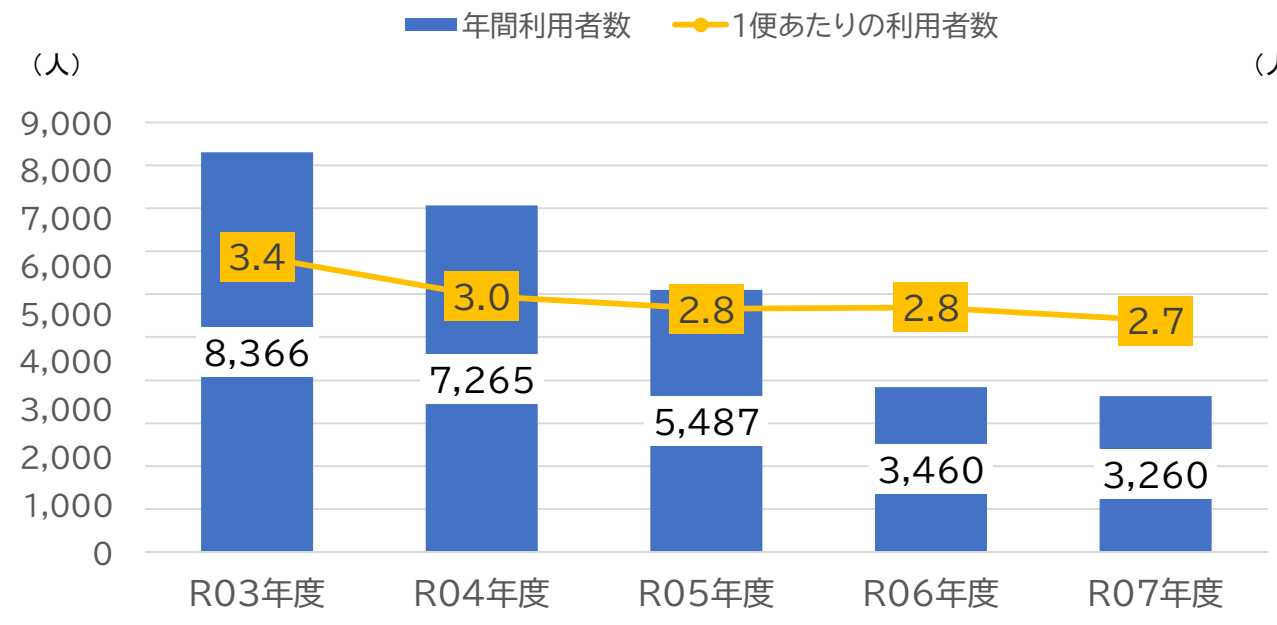
2-2. バス停別乗降人数(対象者数:706人)



6 更級戸倉線		支線	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	やまびこ号		
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	5便	運休	
備考	年間運行日数:242(243)日 年間運行便数:1,210(1,215)便 ※()内は前年度朝の1便及び2便は経路を短縮し、須坂と戸倉駅を結ぶ。		

令和5年9月にデマンド導入に伴い日中を減便。
 令和6年4月に利用状況を鑑み土曜日を運休。
 利用者数は減少傾向が顕著となっている。1便あたりの利用者数も緩やかな減少傾向。

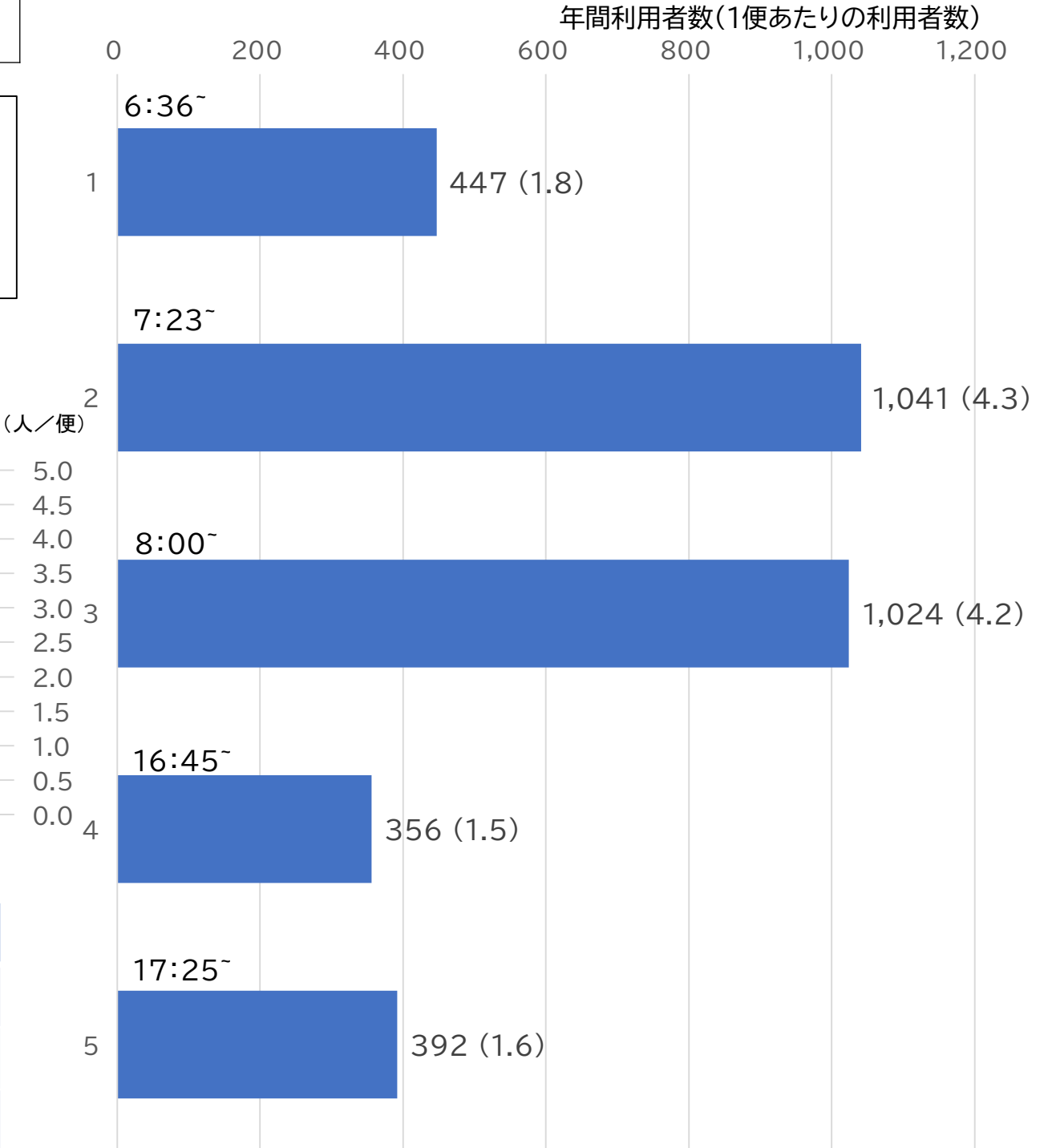
1. 利用者数の推移



年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド導入に伴い平日4～7便を減便
令和6年4月	・土曜日を運休
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2-1. 便別利用者数

2便(7:23～)及び3便(8:00～)が突出して多い。
 1便あたりの利用者数は全便において全体平均(7.1人)を大きく下回っている。



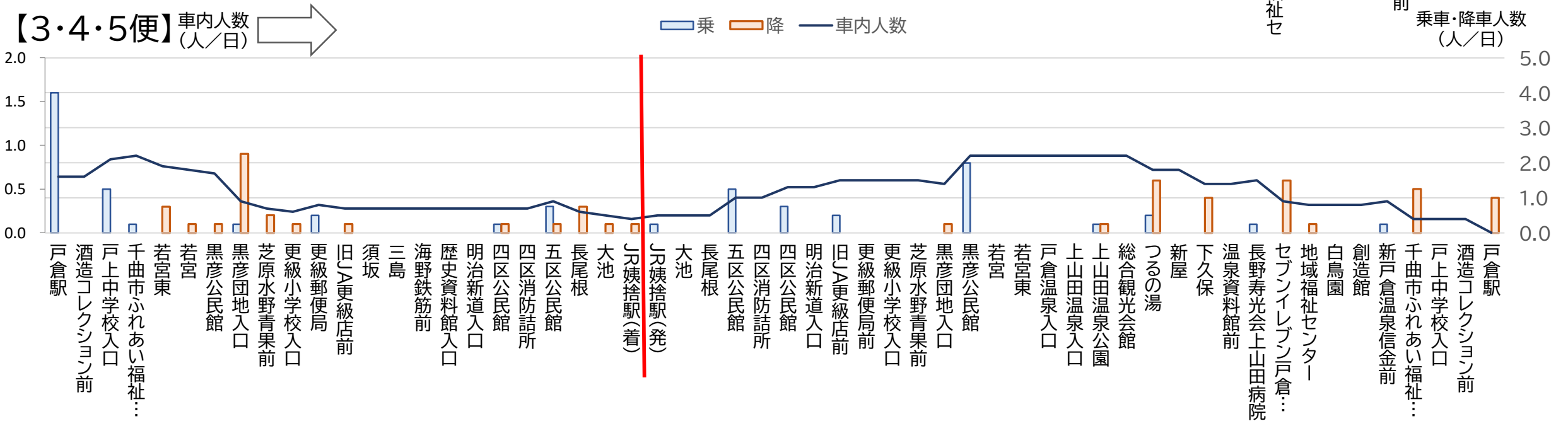
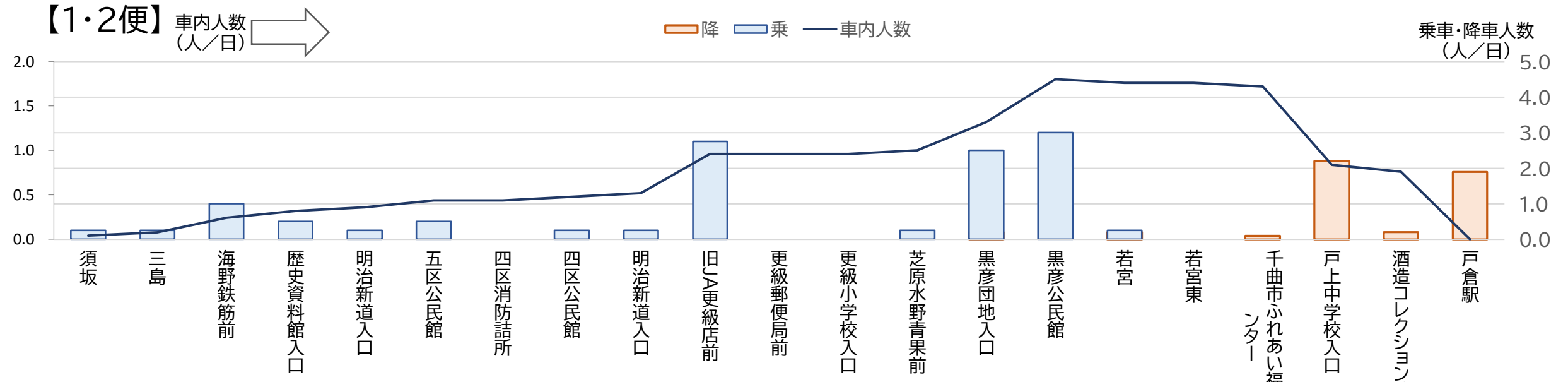
6 更級戸倉線		支線	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	やまびこ号		
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	5便		運休
備考	前項参照		

乗車：黒彦公民館（19.8%）が最も多く、次いで戸倉駅（15.8%）、旧JA更級店前（12.9%）、黒彦団地入口（10.9%）、五区公民館（9.9%）と続く。

降車：戸倉駅（22.8%）が最も多く、次いで戸上中学校入口（21.8%）、黒彦団地入口（11.9%）、ふれあい福祉センター・つるの湯・セブンイレブン戸倉店前（5.9%）と続く。

車内人数：更級地区からつるの湯の間、ふれあい福祉センター周辺でピークを迎える。

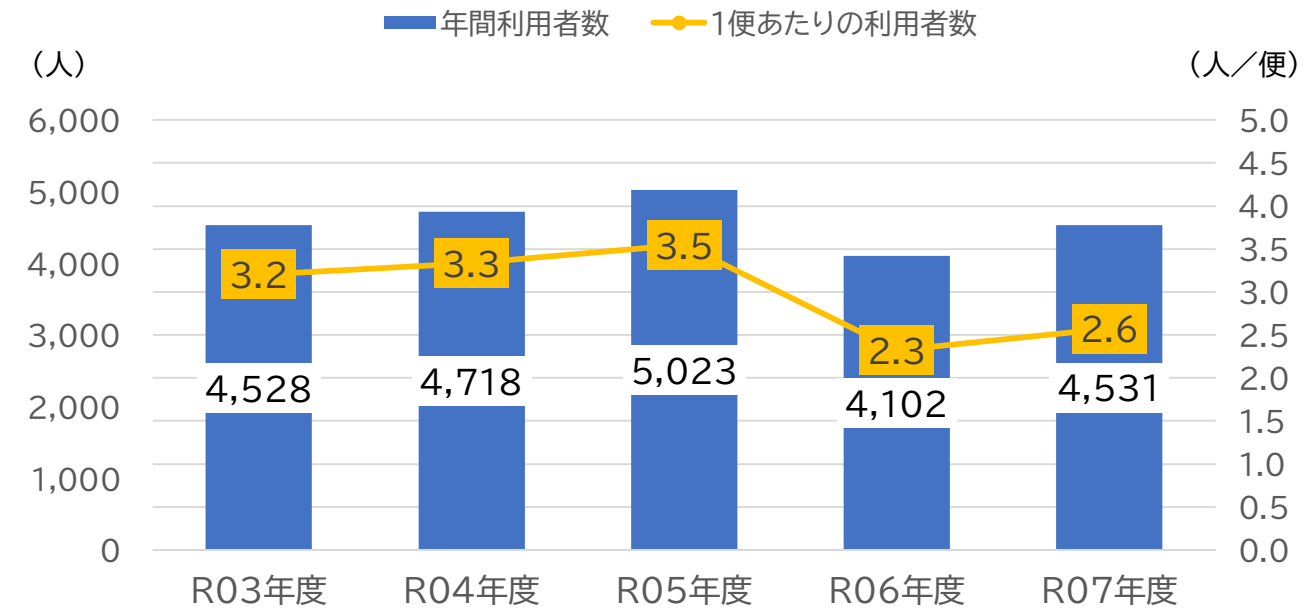
2-2. バス停別乗降人数(対象者数:101人)



7 五加戸倉線		支線	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	さざなみ号		
運行日	平日・土曜日 (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	6便(1/5～3/19は7便)	5便	運休
備考	年間運行日数:292(293)日 年間運行便数:1,760(1,765)便 ※()内は前年度 冬期限定便(1月5日～3月19日まで)あり。福井・磯部区域でフリー乗降区間あり。		

令和6年4月に平日日中経路を短縮及び1便増便。冬期便については夕方減便。全体としては増便。
年間利用者数は横ばい。1便当たりの利用者数は低調。

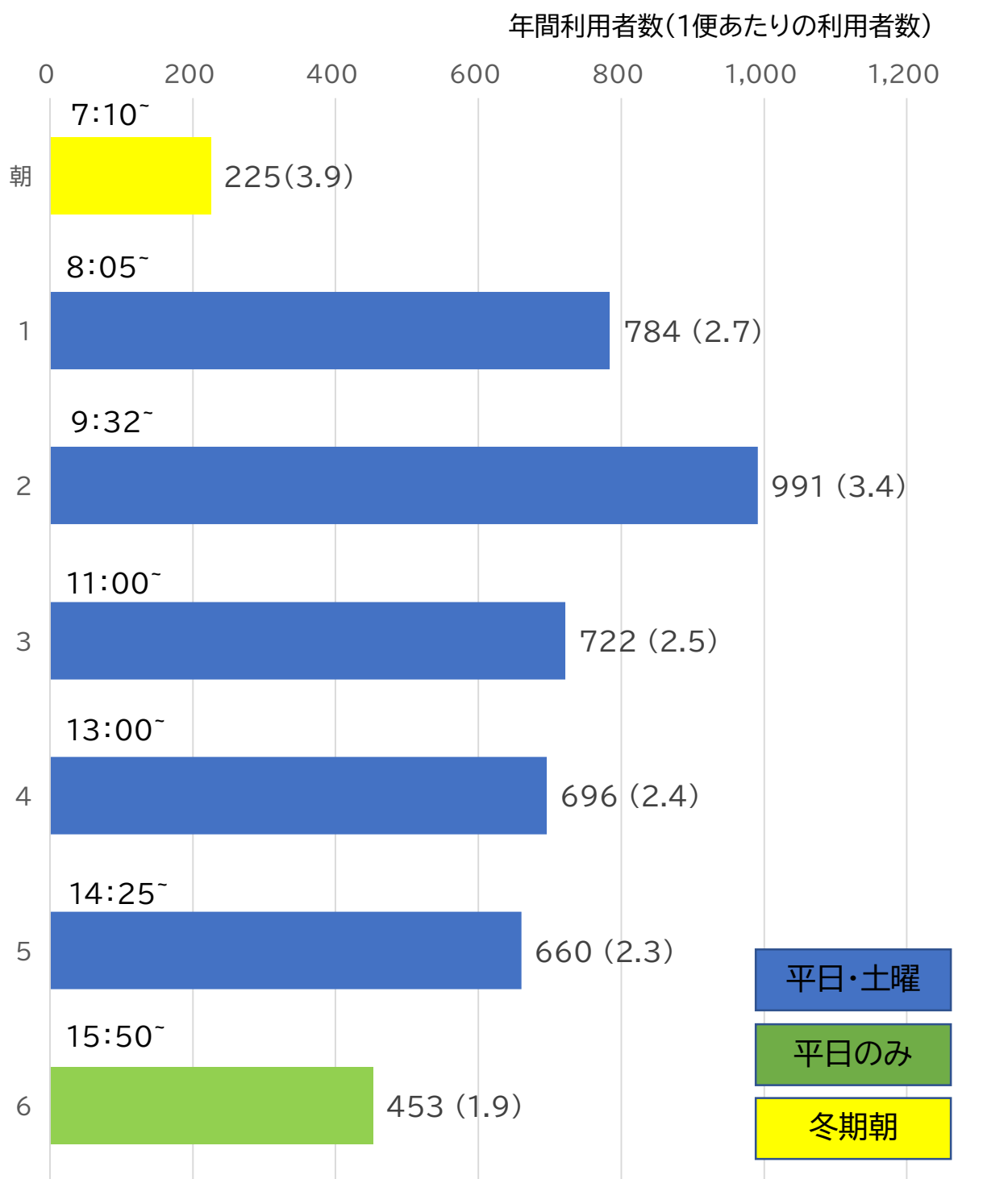
1. 利用者数の推移



年月	見直しの内容
令和6年4月	・平日日中に1便追加 ・冬期間限定便の夕方を減便
令和7年4月	・利用者の要望を踏まえ、経路を変更。
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2-1. 便別利用者数

2便(9:32～)が最も多く、次いで1便(8:05～)となっている。朝便(冬期限定)については、積雪の状況に伴い推移する。
全体的に1便あたりの利用者数も全体平均(7.1人)の半分以下となっている。



7 五加戸倉線

支線

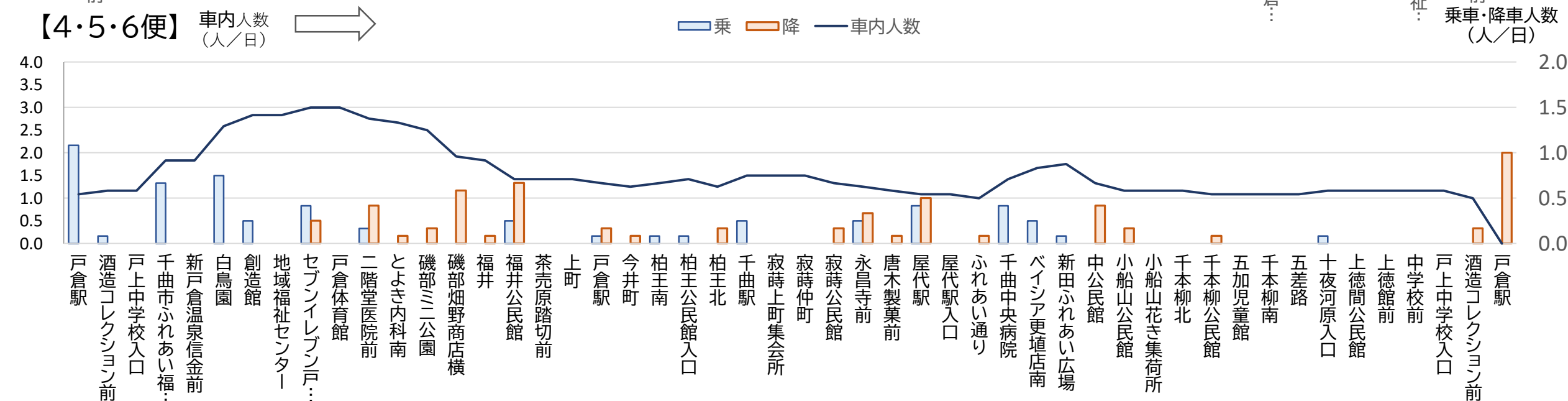
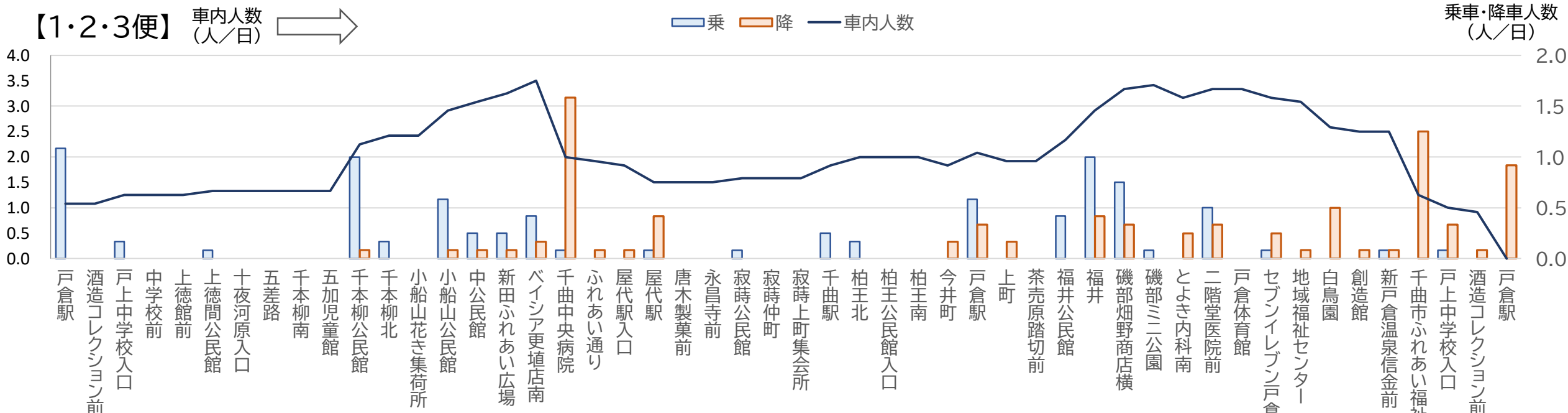
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	さざなみ号		
運行日	平日・土曜日 (12月29日~1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	6便(1/6~3/19は7便)	5便	運休
備考	前項参照		

乗車：戸倉駅 (20.4%) が最も多く、次いで千本柳公民館・福井 (7.2%)、白鳥園・磯部畑野商店横 (5.4%) と続く。屋代駅・千曲駅ともに3.6%、千曲中央病院は3.6%、二階堂医院は4.8%、ベイシアが4.8%。比較的分散。

降車：戸倉駅 (17.4%) が最も多く、次いで千曲中央病院 (11.4%)、千曲市ふれあい福祉センター (9.0%)、屋代駅・磯部畑野商店横 (6.6%) と続く。二階堂医院は5.4%、ベイシアが1.2%。比較的分散。

車内人数：ベイシア、戸倉体育館周辺でピークを迎える。

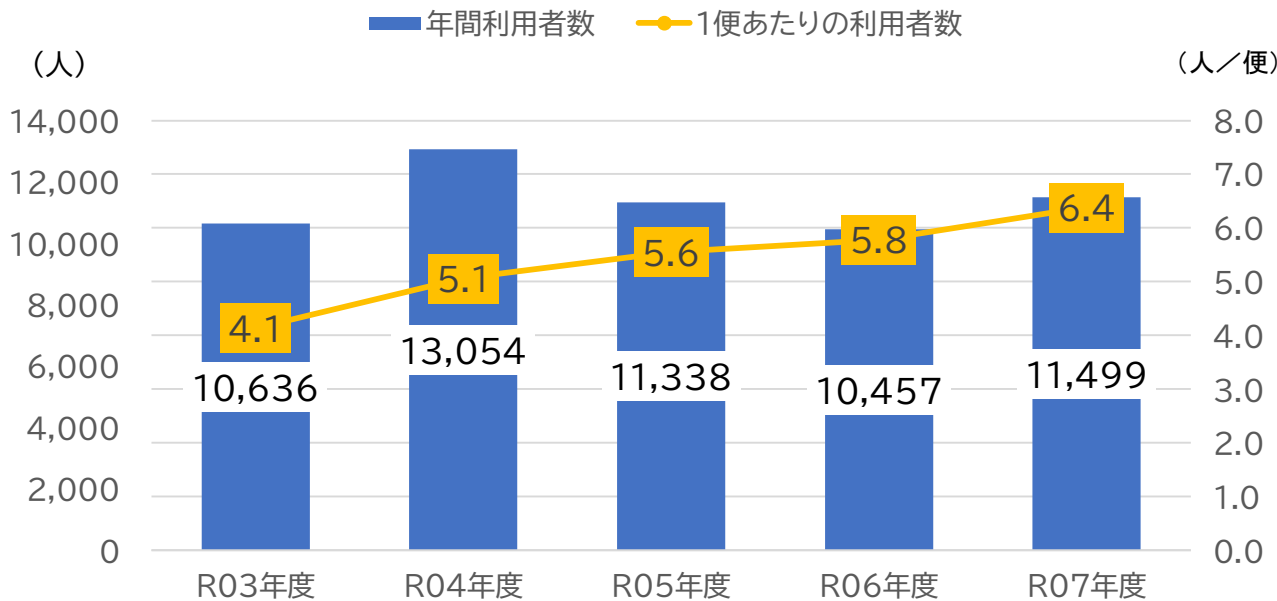
2-2. バス停別乗降人数 (対象者数:167人)※冬期便を除く



8 上山田線		支線		
運行事業者	(有)信州観光バス			
車両	ほっとバス			
運行日	平日・土曜日 (12月29日～1月3日は運休)			
便数	平日	土曜	日曜・祝日	
	6便	7便	運休	
備考	年間運行日数:292(293)日 年間運行便数:1,802(1,808)便 ※()内は前年度 土曜日は日中において、主に戸倉駅と上山田戸倉出張所をつなぐ。南部の区域において、フリー乗降区間あり。			

令和5年9月からデマンド導入に伴い大幅な減便。減便の状況に比べ利用者数の減少が少なかったことから、1便あたりの利用者数は増加傾向にある。

1. 利用者数の推移

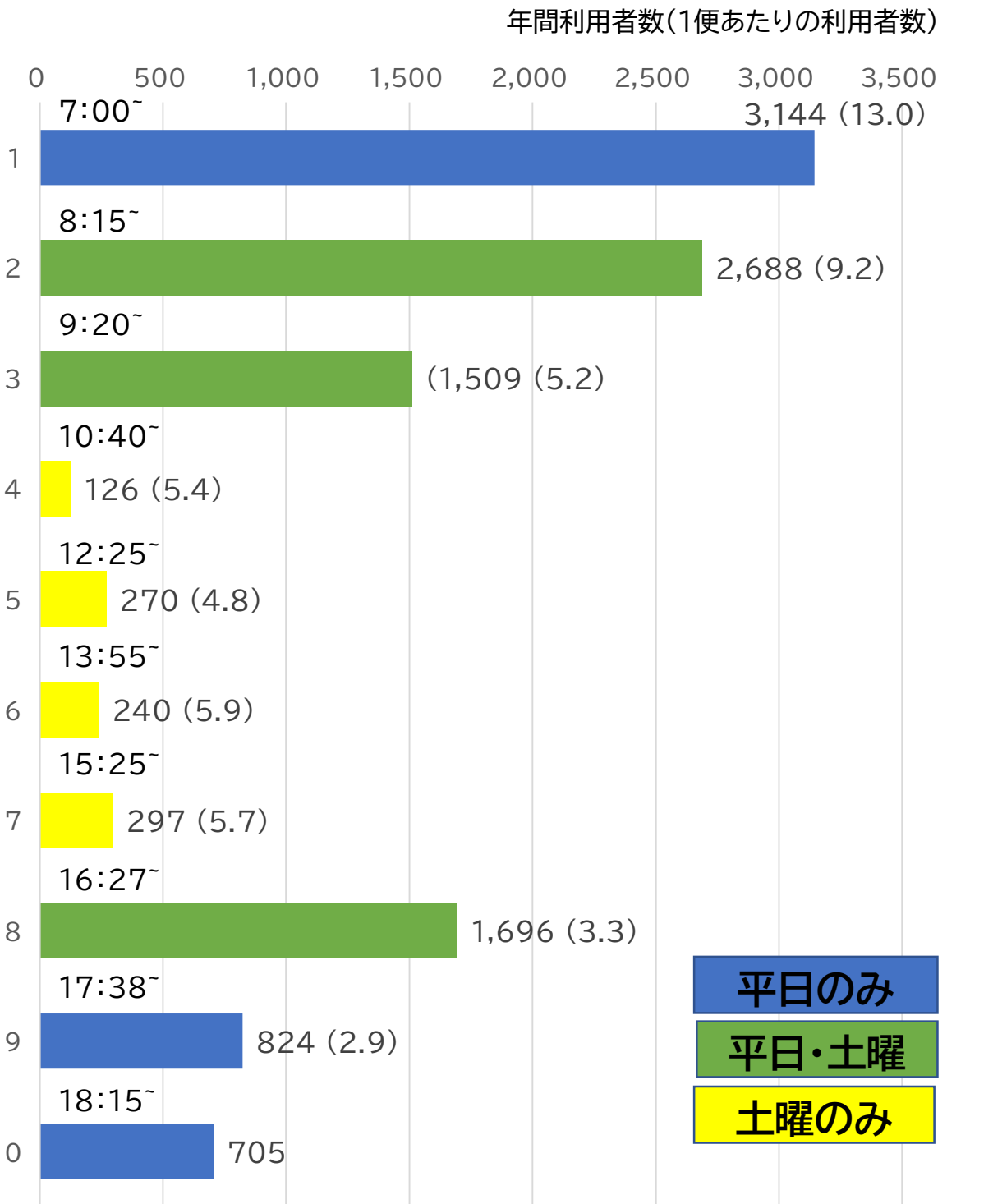


年月	見直しの内容
令和2年4月	・11便を削減
令和5年9月	・デマンド導入に伴い平日4～7便を減便
令和6年4月	・平日夕方に1便追加
令和7年4月	・利用状況に基づき2・3便経路短縮
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2-1. 便別利用者数

1便(7:00～)が最も多く、次いで2便(8:15～)となっている。なお、日中の4～7便は土曜日のみ運行のため利用者数は少ない。

1便あたりの利用者数も、朝は全体平均値(7.1人)を上回るが日中及び夕方は低調。



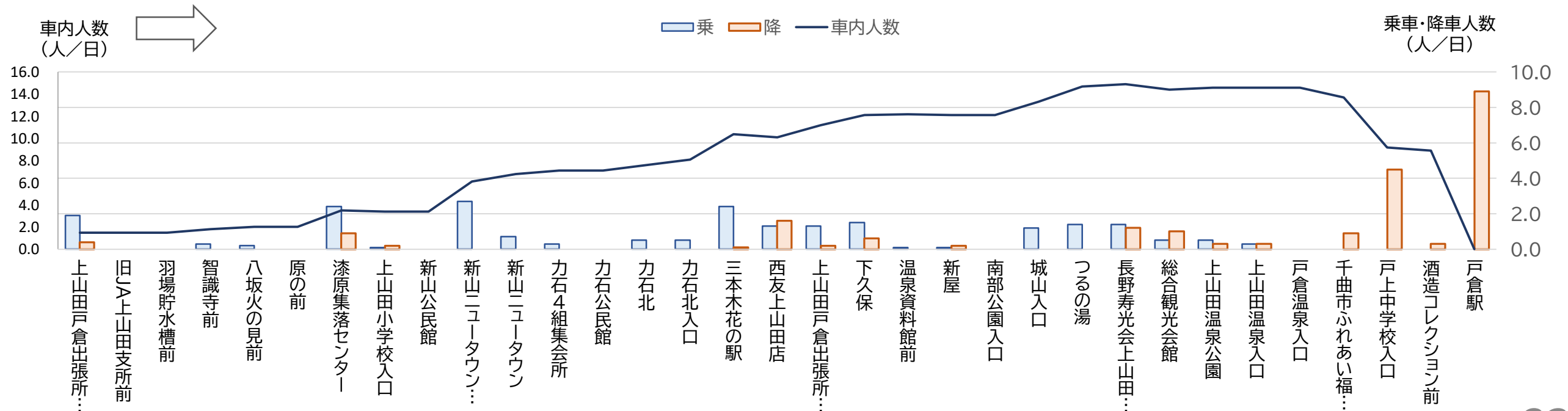
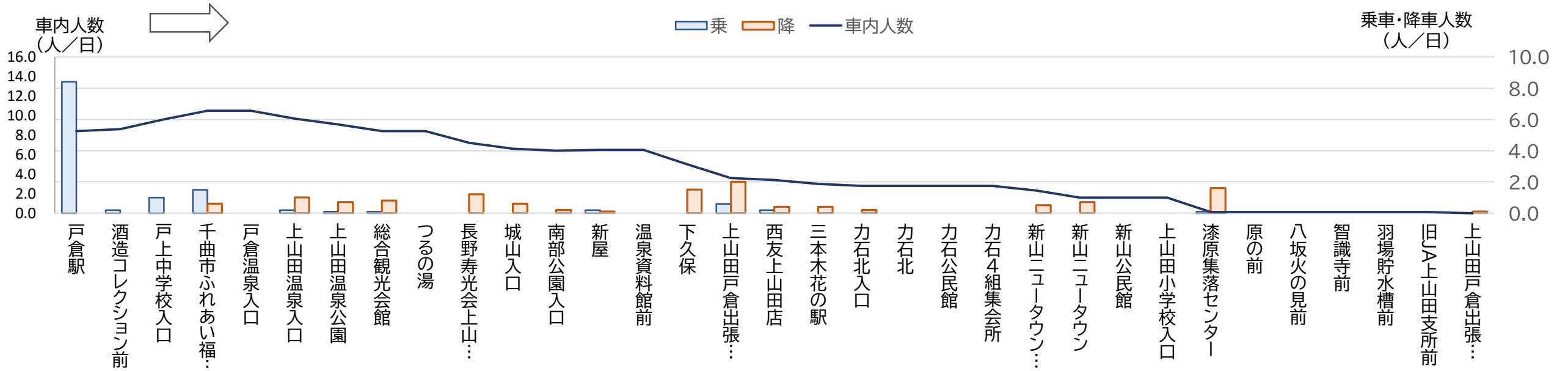
8 上山田線		支線	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	ほっとバス		
運行日	平日・土曜日 (12月29日~1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	6便	7便	運休
備考	前項参照		

乗車：戸倉駅 (24.6%) が突出して多く、次いで上山田戸倉出張所 (11.1%)、新山ニュータウン入口 (7.9%)、漆原集落センター (7.3%)、三本木花の駅 (7.0%) と続く。西友上山田が4.4%、寿光会上山田病院が4.1%。

降車：戸倉駅 (26.0%) が突出して多く、次いで戸上中 (13.2%)、上山田戸倉出張所 (7.9%)、漆原集落センター (7.3%)、寿光会上山田病院 (7.0%) と続く。西友上山田が5.8%。

車内人数：寿光会上山田病院からふれあい福祉センター間でピークを迎える。

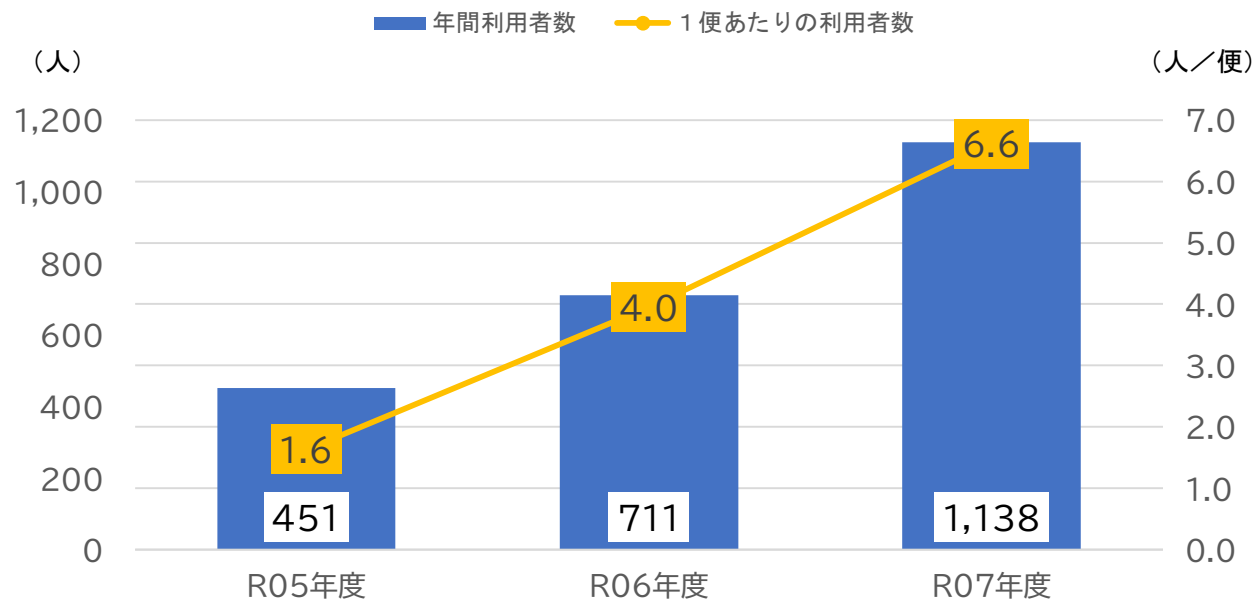
2-2. バス停別乗降人数(対象者数:342人)※平日便のみ



9 おばすて棚田・温泉観光便		観光便	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	やまびこ号		
運行日	令和7年4月20日から11月24日の日曜・祝日		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	運休	運休	4便
備考	年間運行日数:43(45)日 年間運行便数:172(180)便 ※()内は前年度 当該期間の日曜・祝日の日中において、主要駅と観光地をつなぐ。		

令和6年4月から1日あたりの便数を6から4便に減便。路線については屋代駅まで延長するとともに停留所も追加。
年間利用者数・1便あたりの利用者数ともに順調な増加傾向にある。

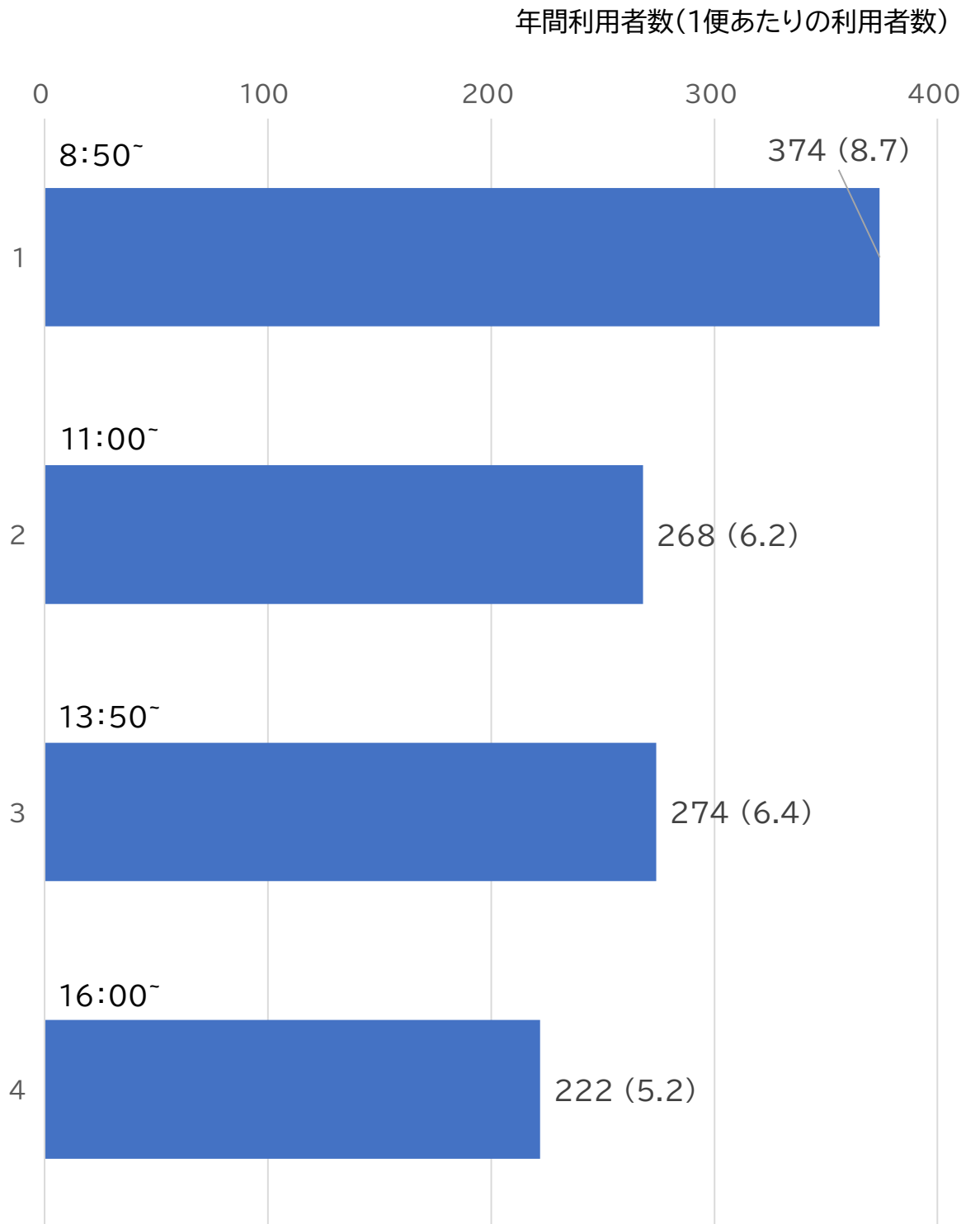
1. 利用者数の推移



年月	見直しの内容
令和6年4月	・ 6便から4便に減便、路線延長
令和7年4月	・ 経路上の停留所を大幅に追加
その他	・ 必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2-1. 便別利用者数

1便(8:50~)が最も多く、次いで3便(13:50~)となっている。全便通して一定の利用がある。
1便あたりの利用者数も、全便で比較的高水準を維持している。



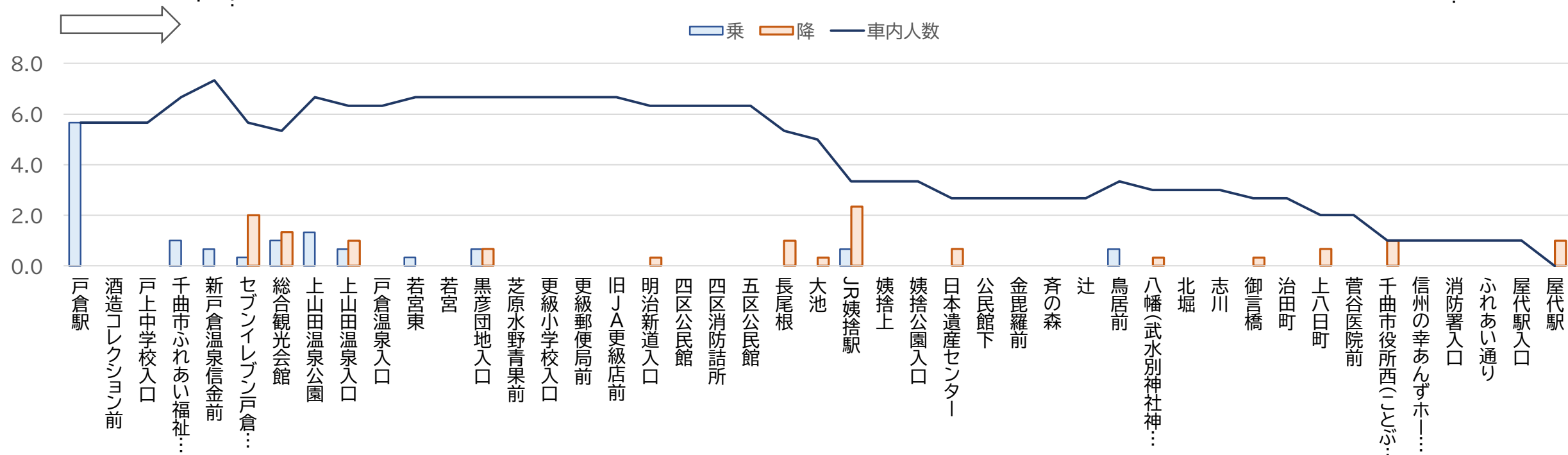
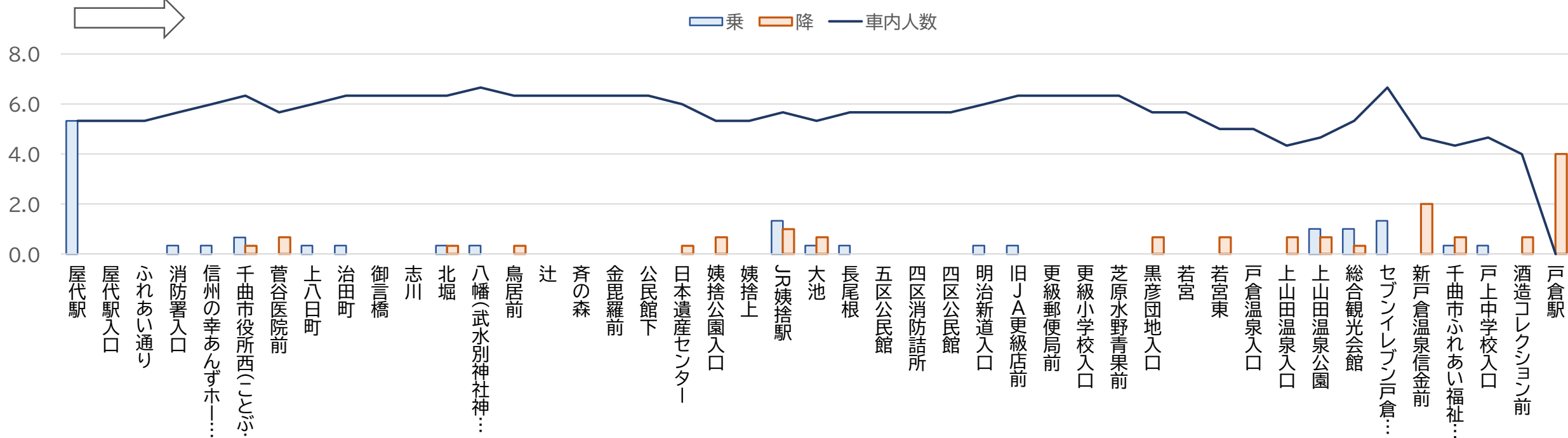
9 おばすて棚田・温泉観光便		観光便	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	やまびこ号		
運行日	令和7年4月20日から11月24日の日曜・祝日		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	運休	運休	4便
備考	前項参照		

乗車：戸倉駅（20.5%）が最も多く、次いで屋代駅（19.3%）、上山田温泉公園（8.4%）、総合観光会館・姨捨駅（7.2%）と続く。

降車：戸倉駅（14.5%）が最も多く、次いで姨捨駅（12.0%）、新戸倉温泉信金前・セブンイレブン戸倉店前（7.2%）、総合観光会館・上山田温泉入口（6.0%）と続く。屋代駅（3.6%）、黒彦団地（4.8%）での利用が比較的多い。

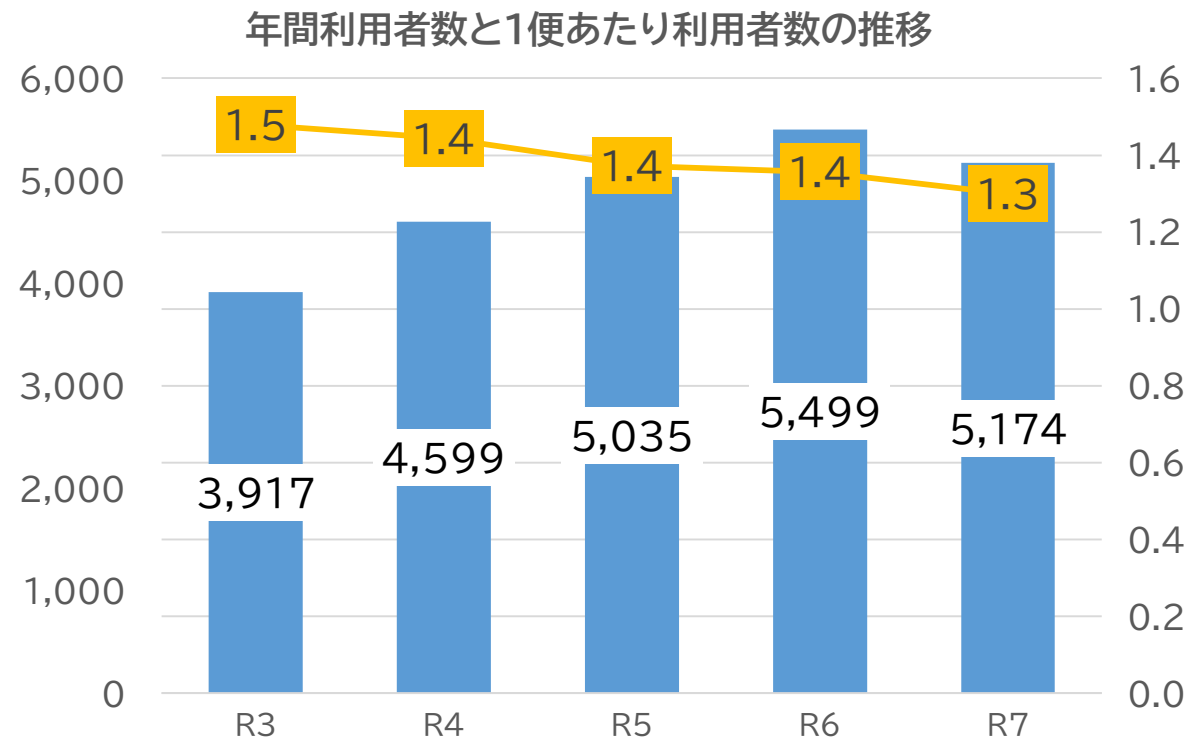
車内人数：ふれあい福祉センター、武水別神社神官松田邸前及び更級地区でピークを迎える。

2-2. バス停別乗降人数(対象者数:83人)



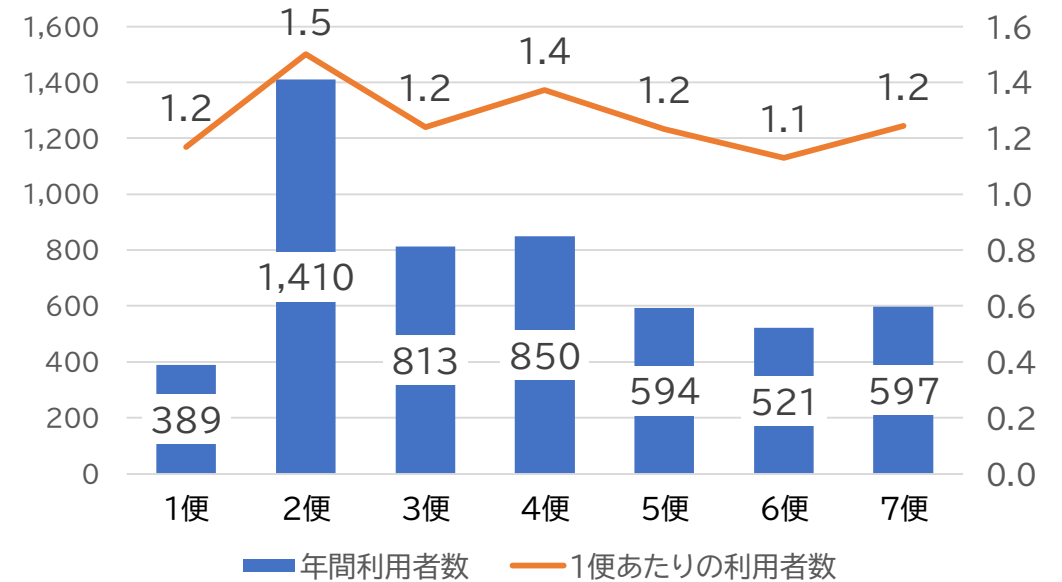
東部 デマンド型乗合タクシー		フィーダー	
運行事業者	更埴観光タクシー(株)		
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	7便		運休
備考	朝夕の東部線と分担し、同地域を運行している。 【フィーダー】運行日数:242日、年間便数:3,971便、利用者数:5,174人		

1. 利用者数の推移

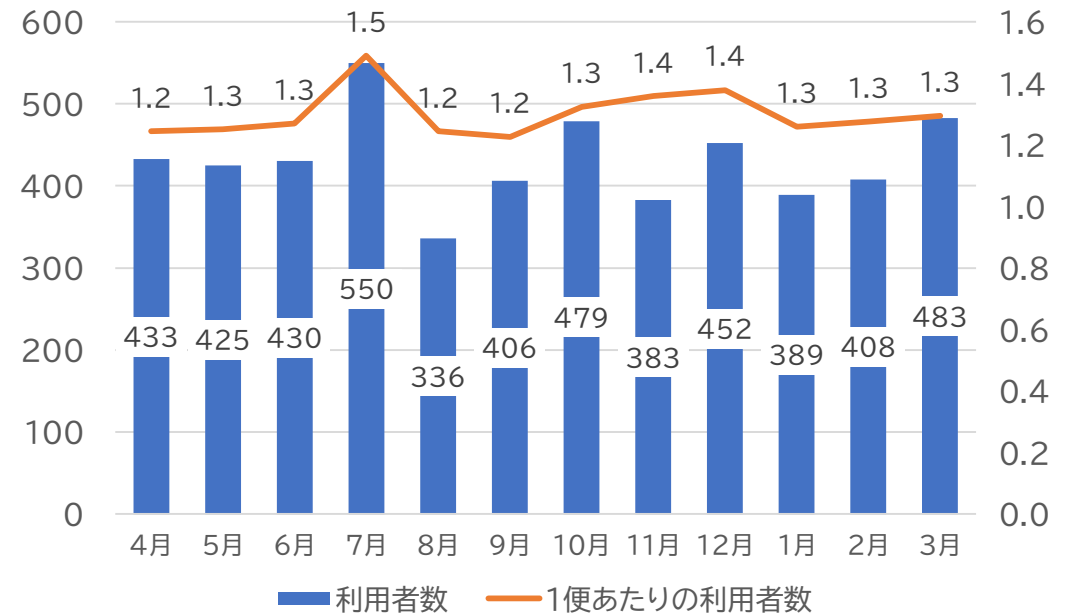


年月	見直しの内容
平成28年10月	・デマンド型乗合タクシーとして運行開始(1日8便)
平成29年4月	・1日7便に変更
令和2年4月	・乗車料金を変更(大人400→300円)

2-1 便別利用者数



2-2 月別利用者数



3. 利用状況の分析

年度別で見ると利用者数は令和6年度までは増加傾向だったが、令和7年度は減少している。1便当たりの利用者数は年々減少傾向にある。

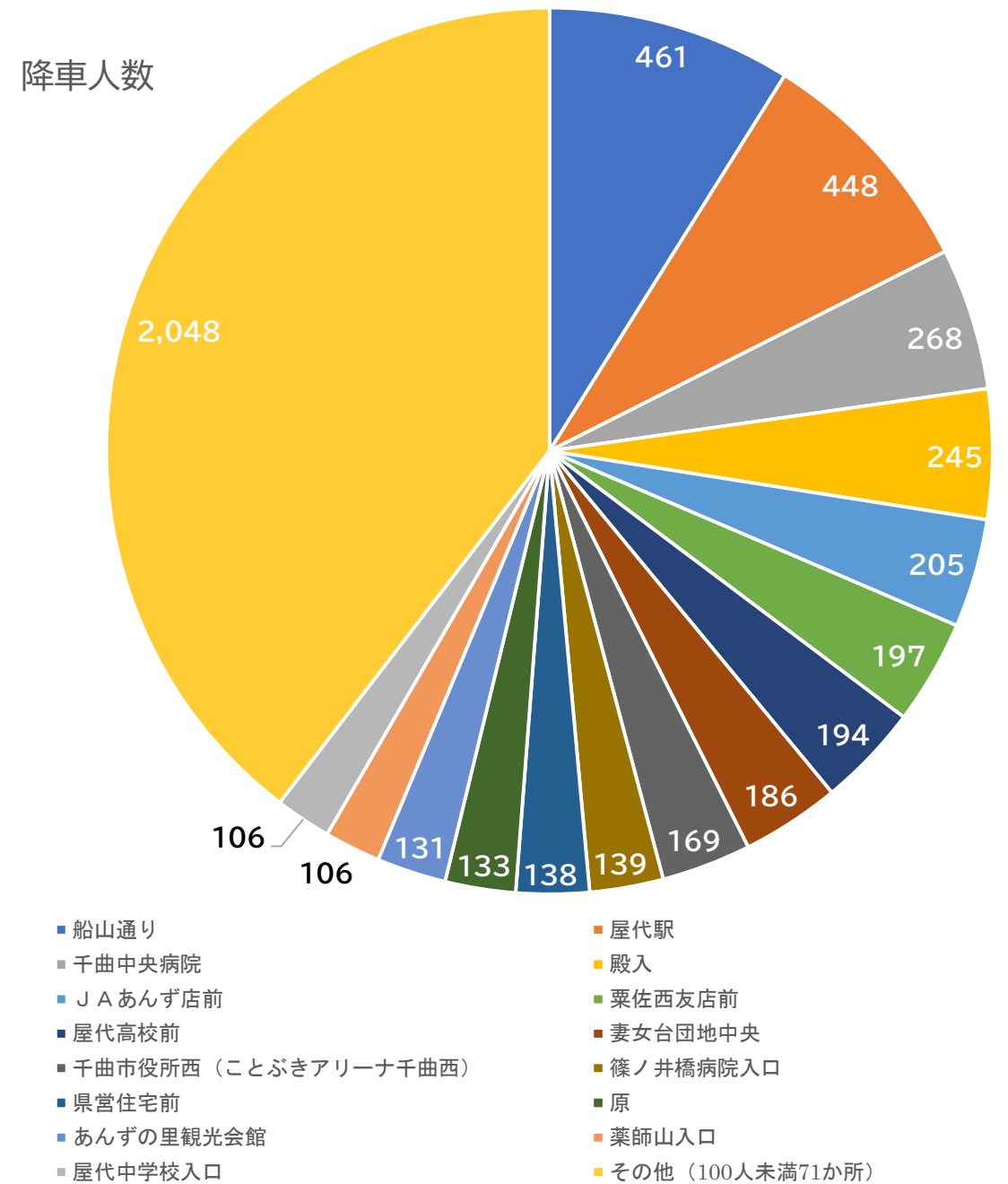
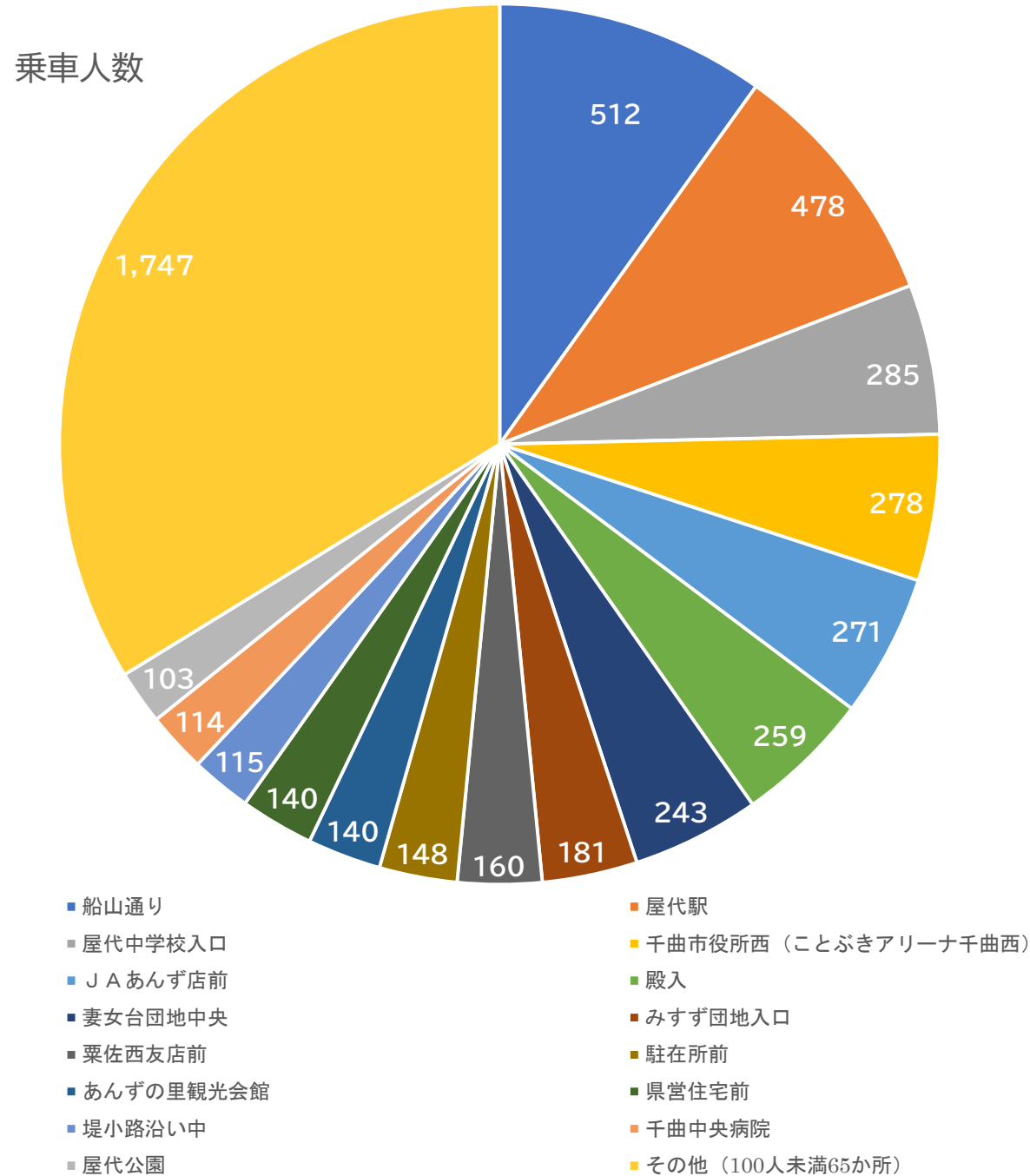
単年度で見ると、2便(9:30)の利用者及び乗合率が突出して高く、1便(8:30)が利用者も乗合率も低い。

午前と比べると午後の利用者の状況は低い数値となっている。月別では7月の利用者及び乗合率が高い。

東部		デマンド型乗合タクシー		フィーダー	
運行事業者	更埴観光タクシー(株)				
運行日	平日(月～金曜日)(12月29日～1月3日は運休)				
便数	平日	土曜	日曜・祝日		
	7便	運休			
備考	朝夕の東部線と分担し、同地域を運行している。 【フィーダー】運行日数:242日、年間便数:3,971便、利用者数:5,174人				

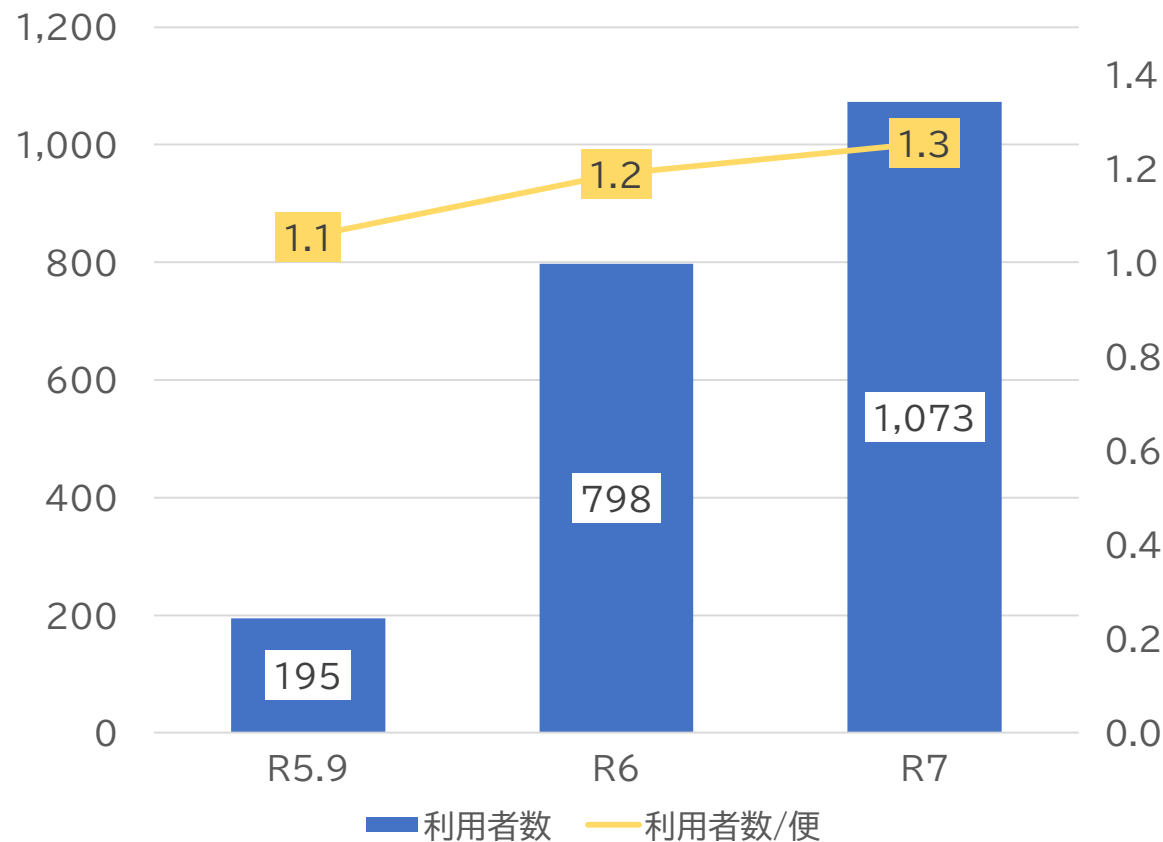
総乗(降)者数:5,174人、実利用者数(予約者ベース):204人
乗車: 船山通り(512人)が最も多く、次いで屋代駅(478人)、屋代中学校入口(285人)、市役所西(278人)、JAあんず店前(271人)と続く。
降車: 船山通り(461人)が最も多く、次いで屋代駅(448人)、千曲中央病院(268人)、殿入(245人)、JAあんず店前(205人)、粟佐西友店前(197人)と、鉄道までの移動や通院・買い物等での利用が上位を占める。

4. 乗降の状況



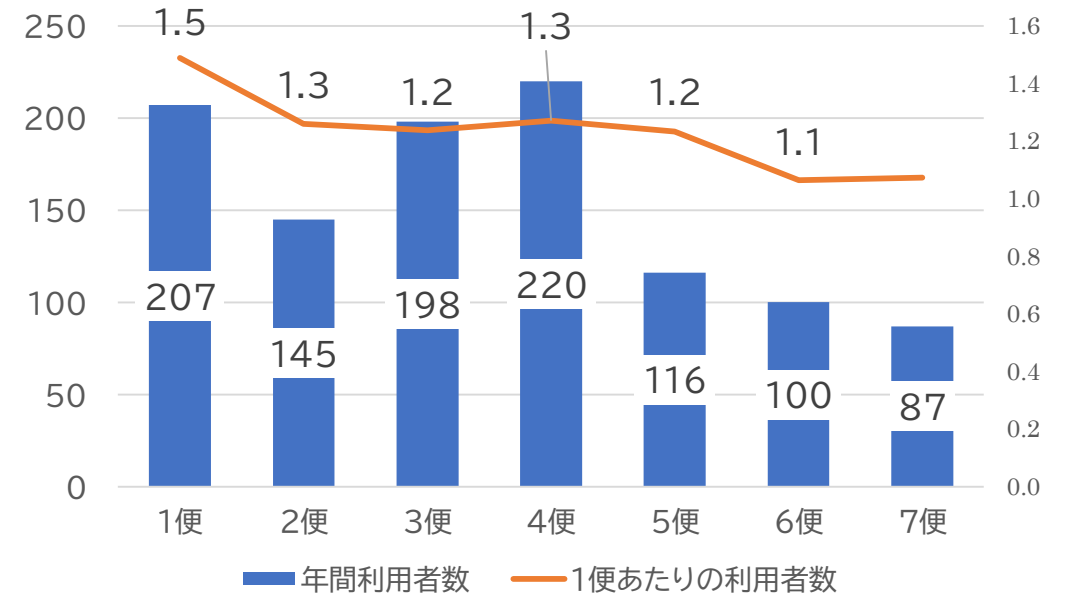
稲荷山・八幡 デマンド型乗合タクシー		【実証運行】	
運行事業者	更埴観光タクシー(株)		
運行日	平日(月～金曜日)、土曜日 (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	7便		運休
備考	【R8.4～フィーダー】 運行日数:270日、年間便数:856便、利用者数:1,073人		

1. 利用者数の推移

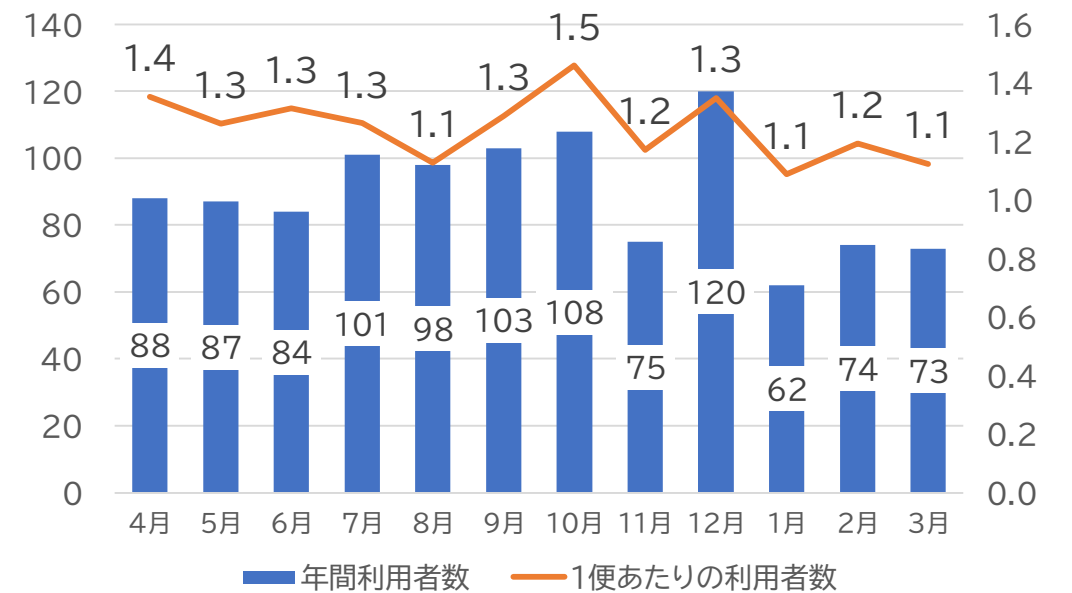


年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド型乗合タクシーとして実証運行開始 (1日6便)
令和7年4月	・1日当たりの便数を7便に増便
令和8年4月	・実証運行期間終了後も運行継続を決定

2-1 便別利用者数



2-2 月別利用者数



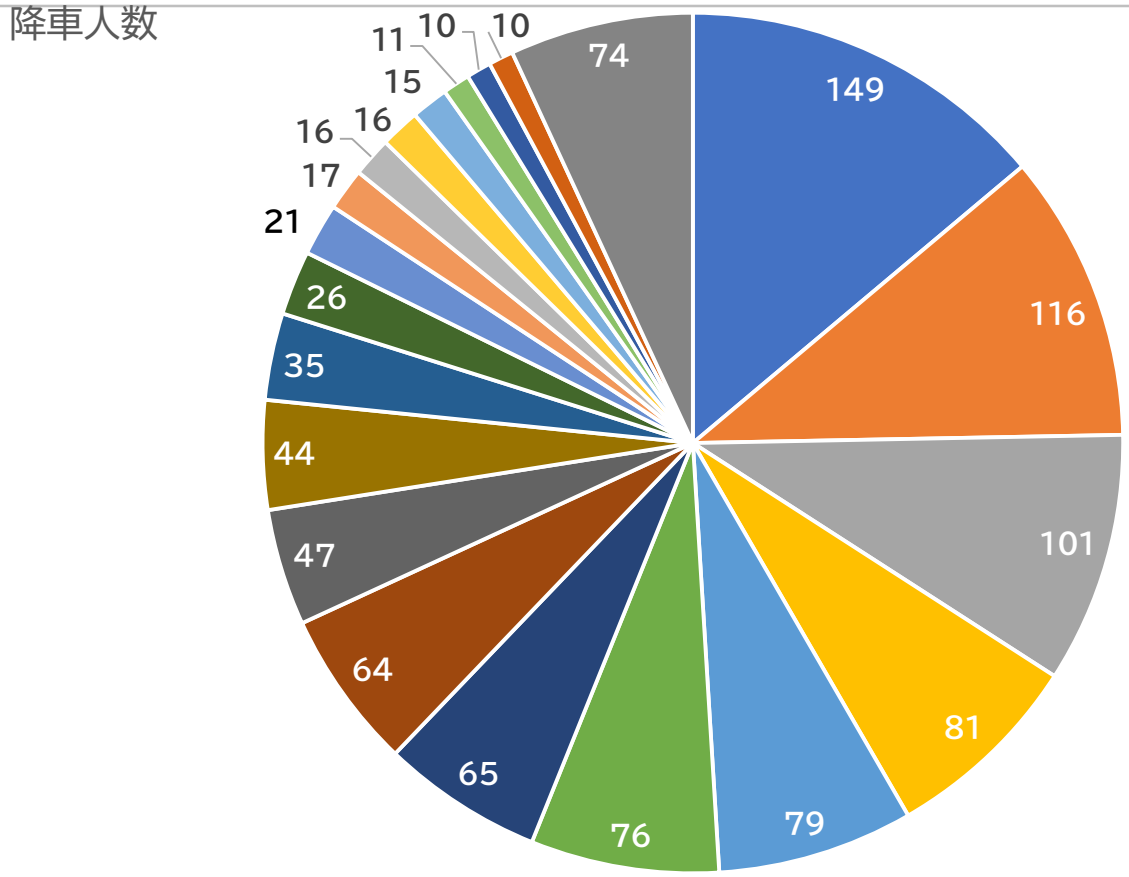
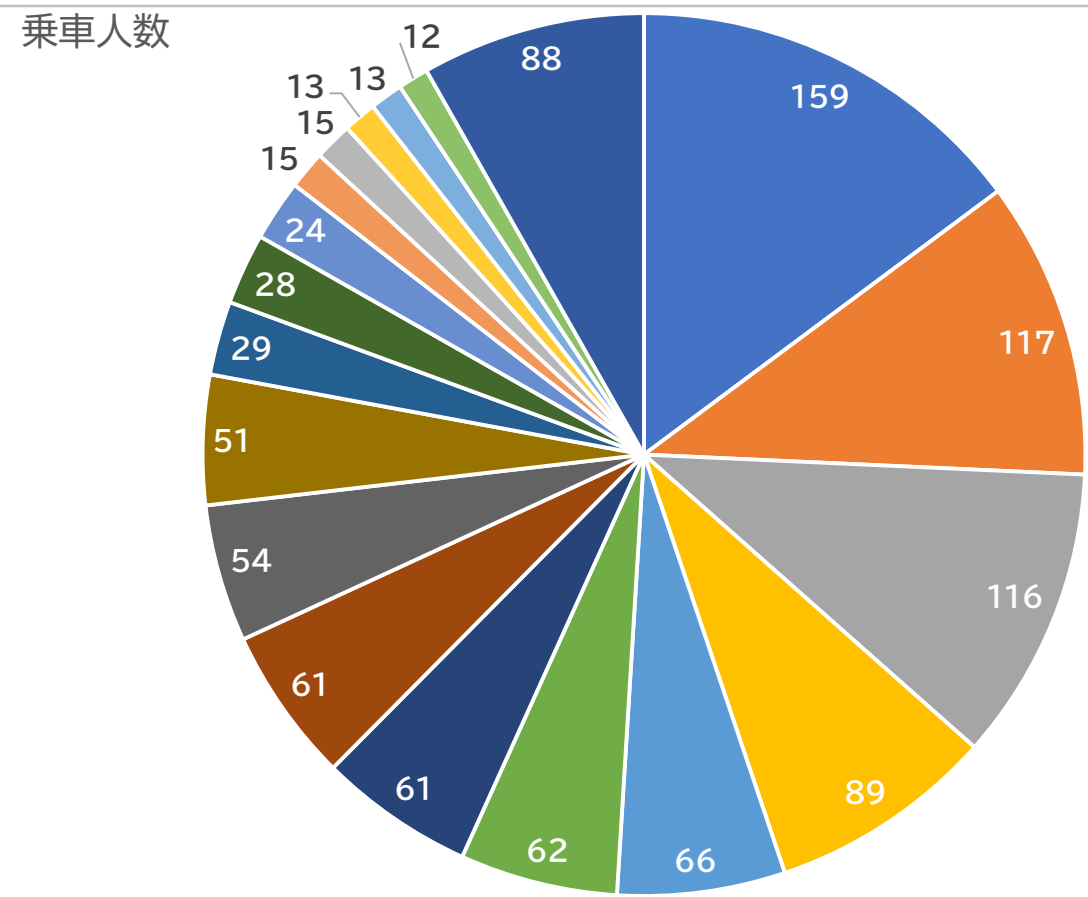
3. 利用状況の分析

年間利用者数及び1便当たりの利用者数において、順調に増加傾向にある。
 令和7年度においては、4便(12:00)が最も多く、次いで1便(9:00)。乗合率は朝が最も多く時間とともに下降傾向。
 月別では12月の利用者及び10月の乗合率が高い。
 利用者数が少ない月ほど乗合率が低下する傾向にある。

稲荷山・八幡 デマンド型乗合タクシー		【実証運行】	
運行事業者	更埴観光タクシー(株)		
運行日	平日(月～金曜日)、土曜日 (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	7便		運休
備考	【R8.4～フィーダー】 運行日数:270日、年間便数:856便、利用者数:1,073人		

総乗(降)者数:1,073人、実利用者数(予約者ベース):81人
乗車:屋代駅(159人)が最も多く、次いでツルヤ稲荷山店前(117人)、県住稲荷山(116人)と続く。医療機関である千曲中央病院(61人)や稲荷山医療福祉センター(51人)、竹林の湯(61人)の利用も多い。
降車:屋代駅(149人)が最も多く、次いで県住稲荷山(116人)、千曲中央病院(101人)と続く。市役所(81人)やツルヤ(79人)、竹林の湯(65人)の利用も多い。

4. 乗降の状況

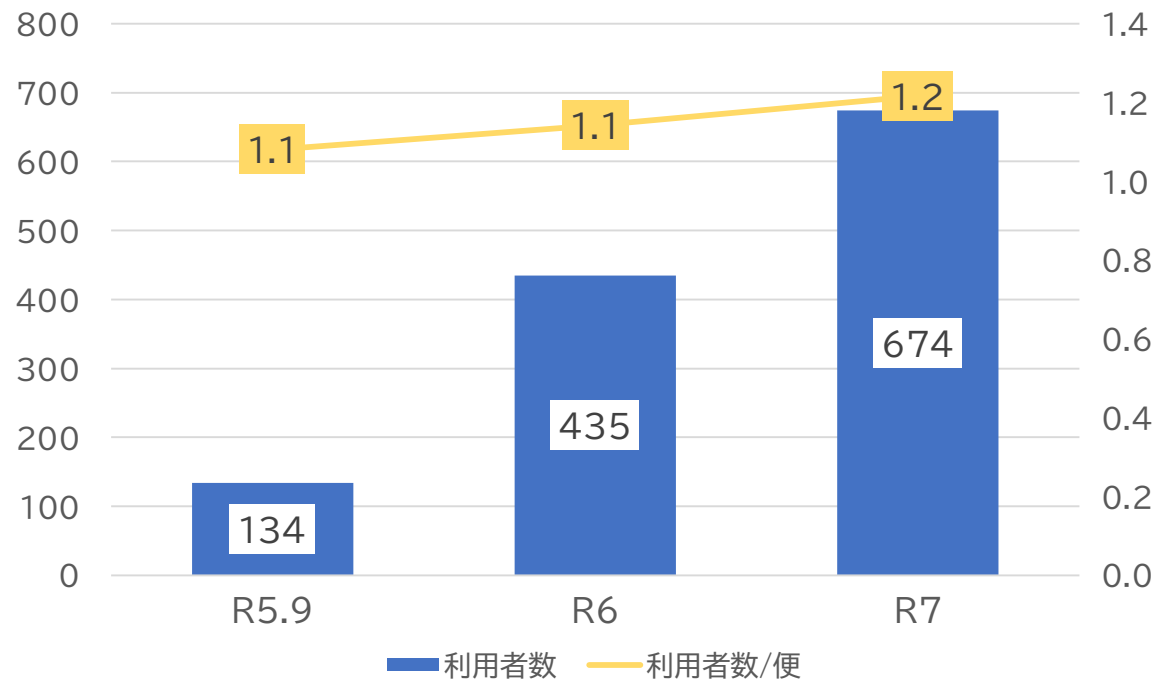


- 屋代駅
- 県営稲荷山団地
- 長雲寺入口
- 千曲中央病院
- 志川団地
- 郡
- 千曲市役所西(ことぶきアリーナ千曲西)
- 更埴西中学校
- 日本遺産センター
- その他(10人未満27か所)
- ツルヤ稲荷山店前
- 森下東
- 志川
- 竹林の湯
- 稲荷山医療福祉センター
- 稲荷山養護学校前
- 給食センター跡地
- 消防署入口
- JR姨捨駅

- 屋代駅
- 千曲中央病院
- ツルヤ稲荷山店前
- 竹林の湯
- あいにー前
- 稲荷山医療福祉センター
- 屋代駅入口
- 郡
- 信州の幸あんずホール入口
- 辻
- その他(10人未満24か所)
- 県営稲荷山団地
- 千曲市役所西(ことぶきアリーナ千曲西)
- 森下東
- 長雲寺入口
- 志川団地
- 稲荷山養護学校前
- 志川
- 消防署入口
- 給食センター跡地
- 姨捨SA入口

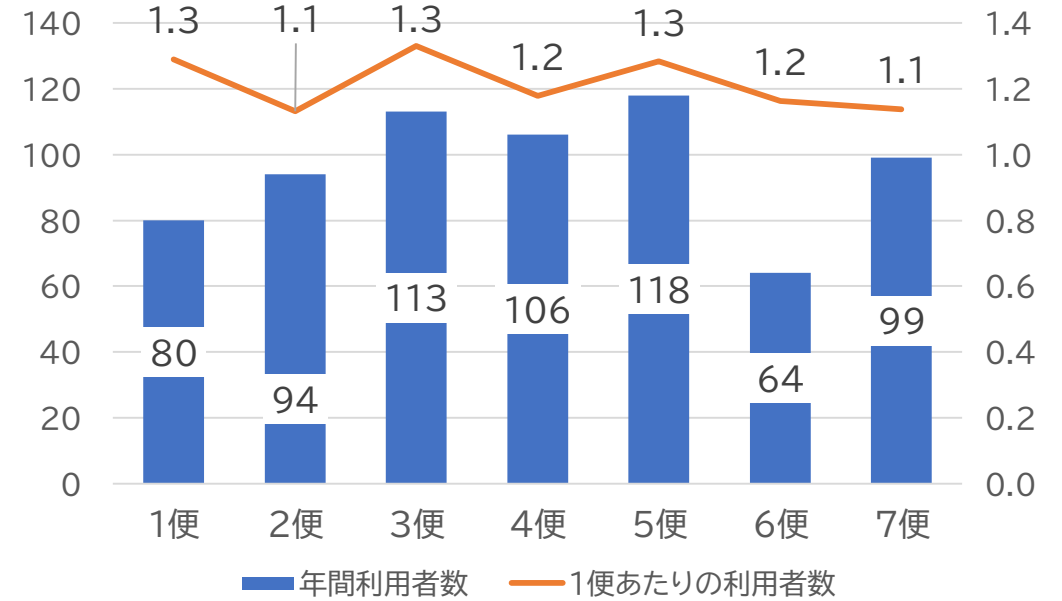
更級		デマンド型乗合タクシー		【実証運行】
運行事業者	畑山ハイヤー			
運行日	平日(月～金曜日)、土曜日 (12月29日～1月3日は運休)			
便数	平日	土曜	日曜・祝日	
	7便		運休	
備考	【R8.4～フィーダー】 運行日数:223日、年間便数:554便、利用者数:674人			

1. 利用者数の推移

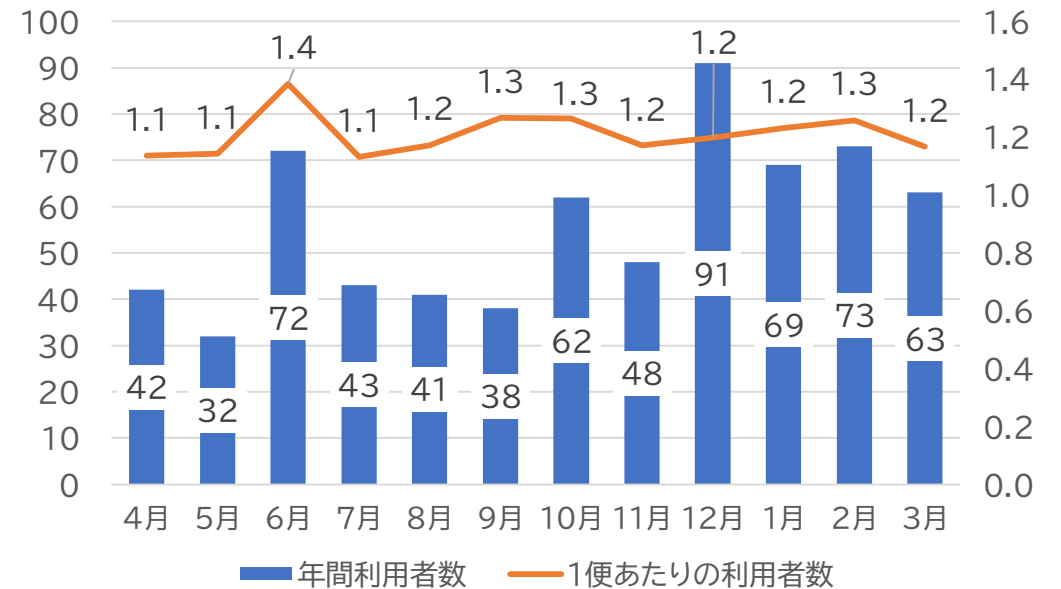


年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド型乗合タクシーとして実証運行開始 (1日6便)
令和7年4月	・1日当たりの便数を7便に増便
令和8年4月	・実証運行期間後も運行継続

2-1 便別利用者数



2-2 月別利用者数

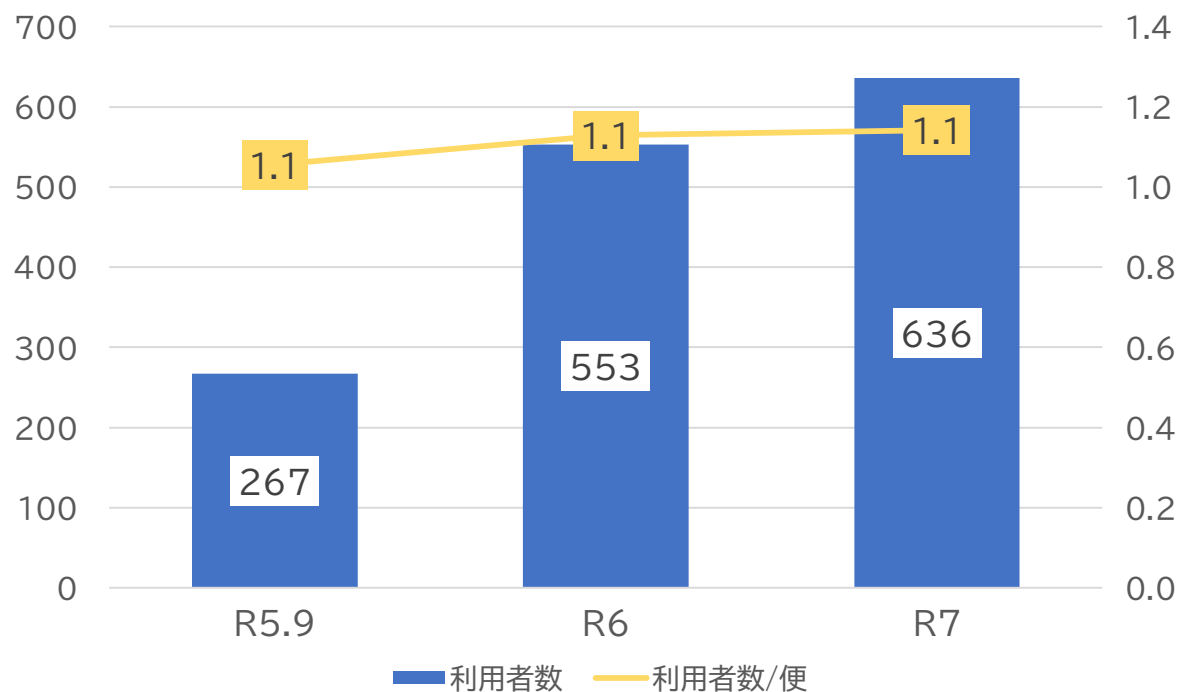


3. 利用状況の分析

年間利用者数及び1便当たりの利用者数において、順調に増加傾向にある。
 令和7年度においては、利用者数及び乗合率ともに5便(13:00)が最も多く、次いで3便(11:00)。日中の利用が多い。
 月別では12月の利用者数及び6月の乗合率が高い。

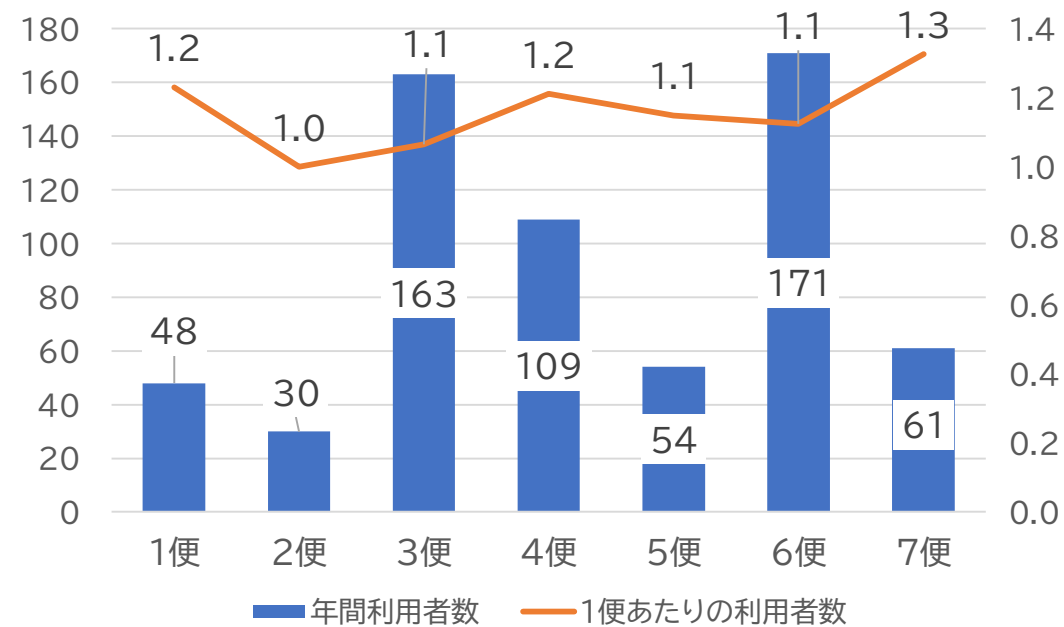
上山田		デマンド型乗合タクシー		【実証実験】
運行事業者	(有)シンリク観光			
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)			
便数	平日	土曜	日曜・祝日	
	7便		運休	
備考	【R8.4～フィーダー】 運行日数:222日、年間便数:557便、利用者数:636人			

1. 利用者数の推移

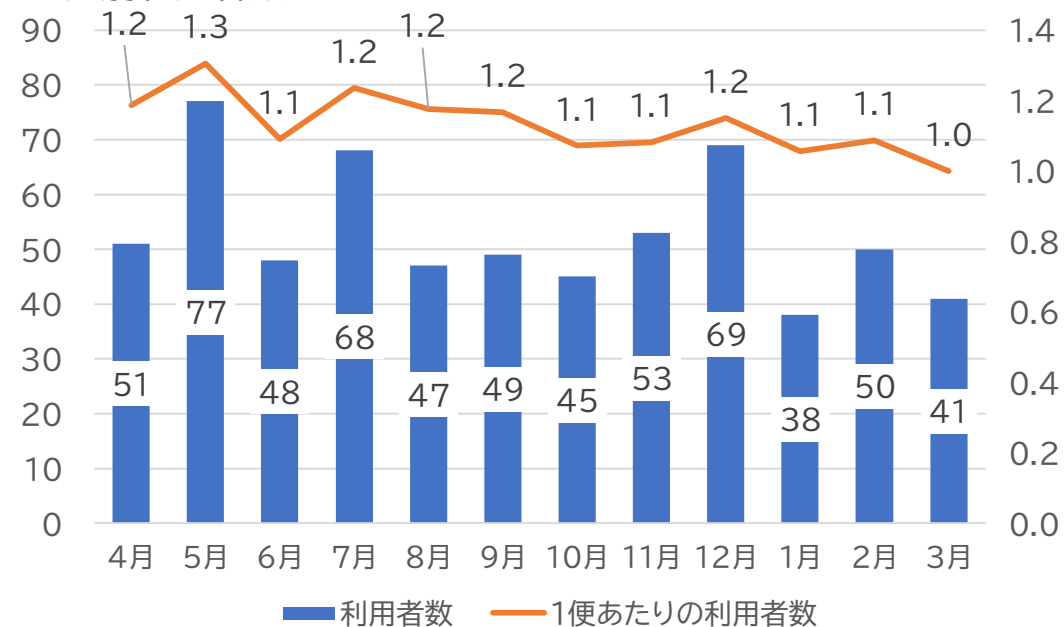


年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド型乗合タクシーとして実証運行開始 (1日6便)
令和7年4月	・1日当たりの便数を7便に増便
令和8年4月	・実証運行期間後も運行継続を決定

2-1 便別利用者数



2-2 月別利用者数



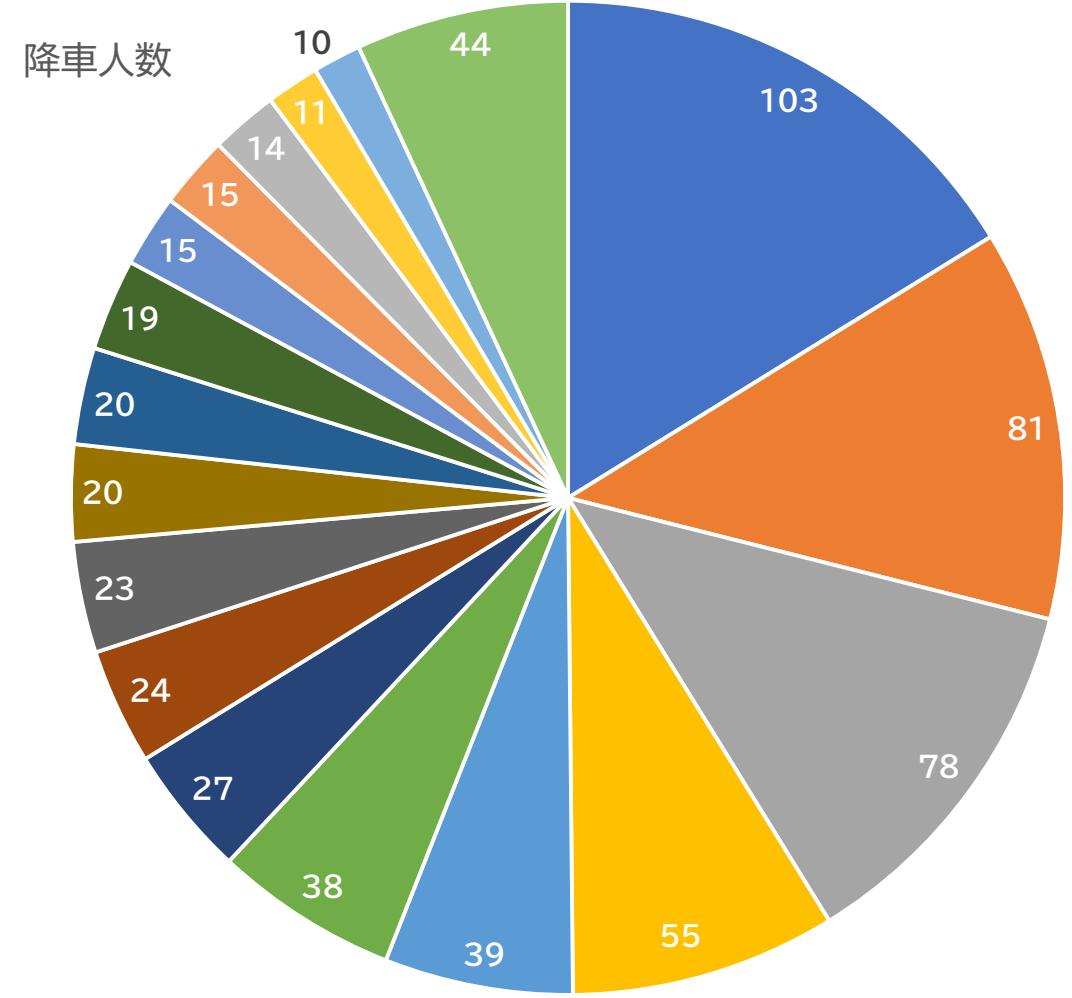
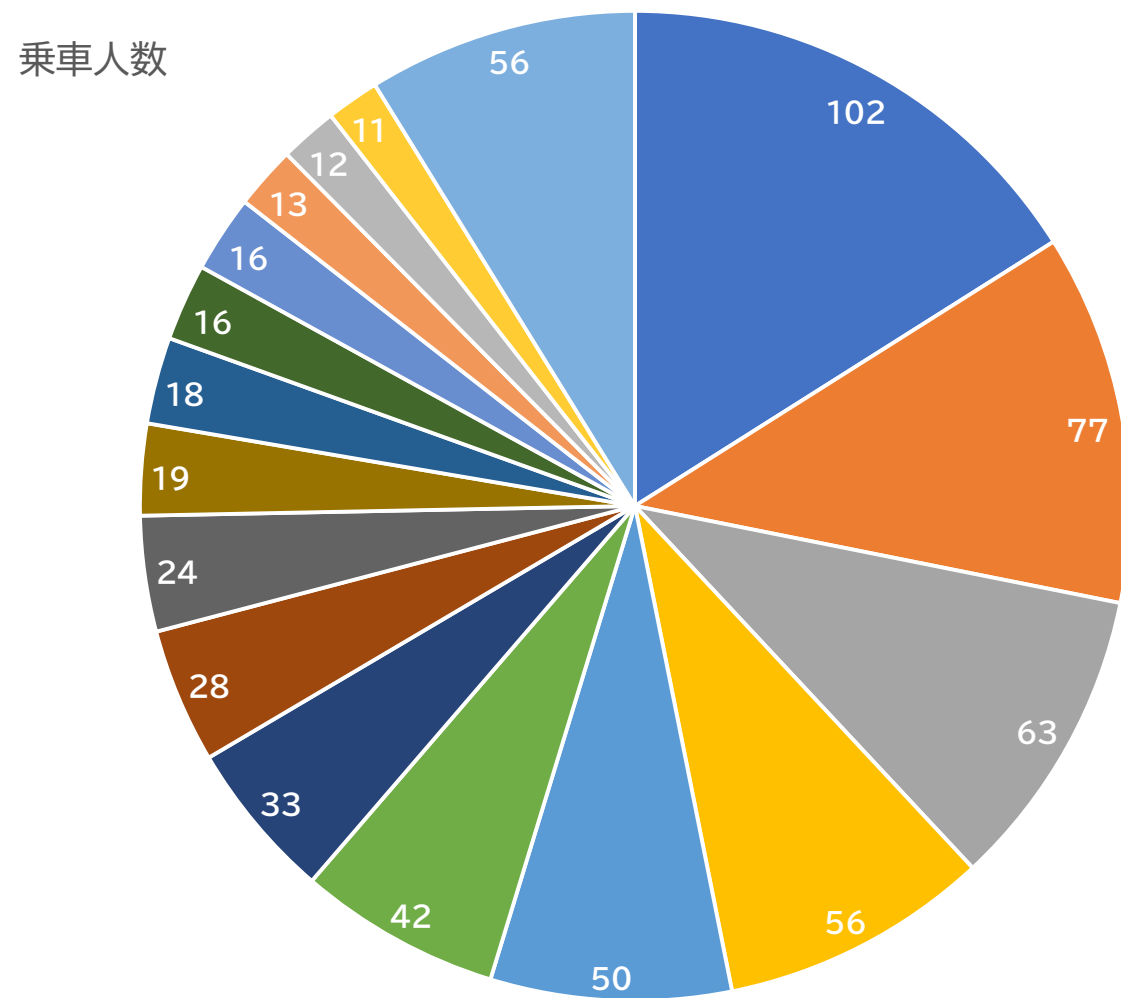
3. 利用状況の分析

年間利用者数及び1便あたりの利用者数において、他エリアに比べると伸び率は低調。
令和7年度においては、6便(14:00)が最も多く、次いで3便(11:00)。日中の利用が多い。
月別では5月の利用者及び乗合率が高い。

上山田	デマンド型乗合タクシー	【実証実験】	
運行事業者	(有)シンリク観光		
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	7便		運休
備考	【R8.4～フィーダー】 運行日数:222日、年間便数:557便、利用者数:636人		

総乗(降)人数：636人、実利用者数(予約者ベース)：48人
乗車：戸倉駅(102人)が最も多く、次いでとよき内科(77人)、新山ニュータウン入口(63人)と続く。ふれあい福祉センターで50人、西友上山田店で42人、寿光会上山田病院で33人の利用があった。
降車：戸倉駅(103人)が最も多く、次いで新山ニュータウン(81人)、総合観光会館(78人)と続く。寿光会上山田病院で55人、創造館で39人の利用があった。

4. 乗降の状況



- 戸倉駅
- 新山ニュータウン
- 長野寿光会上山田病院
- 三本木火の見
- 上山田温泉公園
- つるの湯
- とよき内科前
- 千曲市ふれあい福祉センター
- 総合観光会館
- 城山入口
- 白鳥園
- その他(10人未満15か所)
- 新山ニュータウン入口
- 西友上山田店
- 智識寺前
- 三本木東
- 新屋

- 戸倉駅
- 長野寿光会上山田病院
- 智識寺前
- サンヨーフーズ前
- 上山田小学校入口
- 上山田温泉入口
- 新山ニュータウン
- 創造館
- 三本木花の駅
- カ石北
- 西友上山田店
- 白鳥園
- 総合観光会館
- 新山ニュータウン入口
- 漆原集落センター
- 三本木火の見
- 城山入口
- その他(10人未満13か所)

第2部.公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び対応

1. 令和7年度実施事業と今後の方針

実施項目	施策	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和7年度実施事業	今後の方向性	
1 地域公共交通の整備・運行・維持	① 広域幹線(鉄道及び屋代須坂線)の運行・維持		鉄道及び地域間幹線バスについて、現在の水準を維持する。					<ul style="list-style-type: none"> 地域間幹線バス(屋代須坂線)において、令和7年度に減便 屋代方面:15(12)便 須坂方面:19(19)便 ※便数は「平日(土祝)」 2027年4月以降の運行については大幅な減便が予定されるため、県、沿線市町村及び運行事業者と協議を重ね、今後の在り方について協議を実施。 	様々な課題に対し、事業者及び県・関係市町村で連携し、高校等への通学及び市民の通院における移動手段の確保に努める。
	② 市内幹線再編・運行(大循環線)	運行	支線改善との整合		運行		<ul style="list-style-type: none"> 大循環線(東回り/西回り)において、国庫・県費補助路線化 【令和7年4月ダイヤ改正】 利用促進のため、祝日の運行を再開。(東回り/西回り:5便) 西回りにおいて、1便追加(戸倉駅→屋代駅) 鉄道及び他路線との連携、運行実績を鑑み、時刻を修正 【令和8年4月ダイヤ改正】 鉄道及び他路線との連携、運行実績を鑑み、時刻を修正 	・幹線の持つ役割と支線の持つ役割、両者の連携について研究を続け、鉄道や他路線との接続性を維持するなど「実用性」の向上を図る。	
	③ 支線の再編・運行	運行	検証・運行形態の検討・改善		新体系での運行		<ul style="list-style-type: none"> 【令和7年4月ダイヤ改正】 運行事業者及び利用者の意見を踏まえ、一部運行経路の変更・時刻を修正 デマンド型乗合タクシー「稲荷山・八幡エリア」「更級エリア」「上山田エリア」において、通院の移動を鑑み13時の便を追加 【デマンド型乗合タクシー】 「稲荷山・八幡エリア」「更級エリア」「上山田エリア」において、令和7年度千曲市地域公共交通活性化協議会における協議を経て、実証運行期間が終了する令和8年4月20日以降も、デマンド型乗合タクシーの運行継続を決定。 【令和8年4月ダイヤ改正】 運行事業者及び利用者の意見を踏まえ、一部運行経路の変更・時刻を修正 	・運行事業者及び利用者の意見等も踏まえながら、幹線の持つ役割と支線の持つ役割、両者の連携について研究を続け、「速達性」「実用性」の向上を図る。	
	④ 観光振興に必要な交通サービスの運行		関連計画との整合を図りながら、継続的に運行					<ul style="list-style-type: none"> 【令和7年4月ダイヤ改正】 観光客のほか、一般の利用客の利便性を高めることを目的に、運行経路上の全ての停留所を乗降可能とした。 	・観光部局等連携を図り、利便性の向上に努める。

計画の評価・検証、次期計画策定

第2部.公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び実施結果

1. 令和7年度実施事業と今後の方針

実施項目	施策	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和7年度実施事業	今後の方向性
2 公共交通の運行基盤の整備	① 小規模輸送の導入検討		導入検討				特記無し	・支線が運行していない、または利用者数が非常に少ない地域においては、引き続きライドシェア等その地域にあった移送サービスの導入を検討する。
	② 公共交通を持続させるための料金体系の整備	検討		運賃改定	維持更新		<ul style="list-style-type: none"> ・県内19市の運賃について調査を実施。(千曲市の料金設定は平均的。ただし、障がい者が無料である市は見当たらなかった) ・本協議会において、運賃協議会を通して持続可能な運賃の在り方について検討を行うことで確認。 ・同時にキャッシュレス決済導入も検討しているため、改定時期についてはキャッシュレス決済の導入時期も鑑みながら判断する。 	・キャッシュレス決済の導入時期も鑑みながら、他市町村の状況も踏まえて、価格改定の可否含めて適正な価格設定及び改定時期について本計画期間内の実施を目指す。
	③ 公共交通を担う人材確保・育成の支援		支援実施				<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用のバス運転手に対し、大型2種免許取得に係る費用に対する助成を実施。 ・千曲坂城消防署へ出向き、退職(予定)職員へのバス運転手への就業について働きかけを実施。 ・バス車両に運転手募集の掲示を行うとともに、市報2月号にバスの運転手募集を行っている記事を掲載。 	・引き続き、バス車両や市報等によるバス運転手の募集につういて周知に努めるとともに、免許取得に係る支援及び消防署との連携を深め、人材確保に努める。
	④ 住民参画による支線の維持・改善の検討		エリア毎協議		協議・検討		<ul style="list-style-type: none"> ・各地域のサロンリーダー及び生活支援コーディネーター等の会合に参加し、公共交通機関の利用促進について周知を行うとともに、どんな場面で活用が図れるか等についてアンケート調査や意見交換を実施。 	・利用が少ない地域に対して、地域住民及び関係者等とのコミュニケーションを行い、利用促進及び改善点の洗い出し等を図る。

第2部.公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び実施結果

1. 令和7年度実施事業と今後の方針

実施項目	施策	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和7年度実施事業	今後の方向性
3 公共交通を利用しやすくするための利用寛容整備	① 迷わず乗れる情報環境の整備	検討・協議		車両に展開・駅の整備			・路線ごとにバス車両や時刻表において色分けを行い、視覚的に認識しやすい環境整備に努めた。	引き続き、視覚的にわかりやすい路線表示に心がけるとともに、ピクトグラム等のさらなる情報環境の整備を検討する。
	② バス停での案内の充実	言語/ 内容検討	更新	ダイヤ改正ごとに更新・改善	維持・更新		・各停留所だけでなく、主要な駅への掲示、ホームページ等への掲載など実施。 ・各種経路検索サイトにおいても、循環バスを利用したルート検索ができるよう必要なデータを事業者に提供した。	引き続き、主要な施設等における掲示やインターネットでの活用を推進するとともに、多言語化表示についても検討を進める。
	③ より使いやすい車両・設備への更新	車両検討		更新			令和7年度に納入したバス車両2台(大田原線・上山田線)においても、低床型にするなど利用しやすい仕様とした。	引き続き、車両更新においては、ノンステップ又は低床型等高齢者・障がい者等でも利用しやすい仕様を基本とする。
	④ 主要なバス停の待合環境の整備	選定・検討		整備			令和7年度において ・地域要望に基づく新規設置:4基 ・既設ベンチの更新:3基	引き続き、地域要望等も踏まえながら、比較的利用の多い停留所へのベンチ設置・更新を実施する。 屋代SICの整備においても、待合環境の整備を推進する。
	⑤ 鉄道駅等の利用環境の整備・維持	パーク&ライド・サイクル&ライド施設の維持、市民への情報発信					しなの鉄道・JR東日本線各駅、高速バス乗り場における市営駐車場・駐輪場の管理を実施。 県で取りまとめた一覧表によるインターネットでの周知を実施。	引き続き、市で管理する駐車場・駐輪場の適切な管理を実施。
	⑥ 公共交通におけるDXの導入検討・維持	目標設定	調査・研究・協議	準備	導入		各種経路検索サイトにおけるルート検索に市循環バスを活用するためのGTFSSデータの提供を実施。 令和8年3月より、長野県の共同調達による長野県バスロケーションシステム「バス予報」を市内循環バス全車両で運用開始。遅延情報等がリアルタイム・統計的に把握できる。	引き続きGTFSSデータの提供を行うとともに、「バス予報」の活用を推進する。 また、「バス予報」により、循環バスの遅延状況等が統計的に分析が可能となったことから、ダイヤ改正においても活用を図る。
	⑦ 割引制度の維持・継続			維持・更新			循環バス・デマンド共通 回数券:100円券×12枚を1,000円 循環バス⇄デマンド乗継券:100円引き 循環バス 65歳以上市民:100円引、障がい者市民:無料 定期券(通勤・通学)、1日乗車券	運賃改定・キャッシュレス導入も踏まえて、持続可能な公共交通の維持確保、受益者負担の視点も持ちながら割引制度についても適切な設定を検討していく。
	⑧ キャッシュレス化の推進	協議・方向性導出	準備	導入	維持・更新		令和8年1月の活性化協議会において、「チケットQR決済」を軸に、段階的・試験的導入を進めることで確認。	国庫補助金の活用なども考慮し、県内において「KURURU」の導入も広がりを見せていることも踏まえて早期の導入を目指す。

第2部.公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び実施結果

1. 令和7年度実施事業と今後の方針

実施項目	施策	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和7年度実施事業	今後の方向性
4 利用促進による利用者の維持新規利用者の掘り起し	① 公共交通利用につながる情報発信	検討・協議		発信			総合交通マップにおいて、市内循環バス、デマンド型乗合タクシー、しなの鉄道、長電バスの時刻表を作成した。 また、各種経路検索サイトにおいて循環バスを利用した経路検索ができるよう情報提供を実施。 ※信州ナビにおける公共交通検索は「バス予報」の導入に伴い終了。	引き続き、内容が充実した見やすい総合交通マップの作成に努めるとともに、インターネットを活用した情報発信にも注力していく。
	② 公共交通利用のきっかけづくり	体制構築	改善	実施・改善			いきいきサロン等地域での集まりにおいて出前講座を実施した。	引き続き、地元への出前講座等による利用促進を図るとともに、「バス無料の日」の設定については、運行事業者とも協議し、検討を進める。
	③ 本市の公共交通を取り巻く状況の発信	方法検討	発信				ダイヤ改正時における市報記事掲載のほか、デマンド型乗合タクシー「稲荷山・更級エリア」「更級エリア」「上山田エリア」の運行継続時においても市報・HPによる情報発信を実施した。	例えば「バス無料の日」と連動した市報による情報発信など、情報発信の強化に努めます。
	④ デマンド型乗合タクシーの予約支援	協議	導入	実施	評価・改善	実施	具体的な数値については把握していないが、運行事業者からの聞き取りにより店舗や医療機関等からの予約は一定数行われていることを確認。	今後も、介護保険や障がい福祉サービスのプランナーや医療機関、店舗等との連携を図り、情報を整理し、必要な支援を実施する。
	⑤ 運転免許証自主返納者に対する支援	事例検討		実施			令和7年度より、回数券を12,000円相当に増額するとともに、有効期限の撤廃、免許返納日から半年以内の申請条件を1年以内と延長し、支援内容を拡充した。	引き続き支援を継続する。
	⑥ 次代を担う世代に対する利用促進	方法検討		実施			令和7年9月に上山田小学校において、循環バスを使った乗り方教室を実施。	引き続き継続して実施する。 他小中学校においても利用促進のための講座等の実施を働きかける。
	⑦ 観光客の誘致による利用促進	方策検討		イベント等実施			しなの鉄道によるイベント列車も積極的に実施されており、本市としても周知及び駐車場貸し出し等の協力を実施。 仮称屋代SICにおけるモーダルコネクトに関する協議を実施。	引き続き、鉄道事業者等と連携を図り、観光客における循環バス等の利用促進のための活動を展開する。 モーダルコネクトについても、関係事業者、関係課と連携をとって推進する。

第2部.公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び実施結果

2. 目標値に対する令和7年度の実績

①公共交通の利用に関する目標

分類	指標		目標値 (R10)	現状値 (R8.3)	達成 割合(%)	備考
広域幹線	駅1日あたりの乗降 人員(人)	屋代駅	4,033	※2,869	---	※現状値はR8.2 現在
		戸倉駅	2,161	※1,687	---	
	屋代須坂線の年間利用者数(人)		236,593	191,182	80.1	
市内幹線	年間利用者数(人)		50,506	60,947	120.7	大循環線
支線	年間利用者数(人)		67,902	54,144	79.7	デマンド・観光便含む

②公共交通の行政支出額及び収支率に関する目標

分類	指標	目標値 (R10)	現状値 (R8.3)	達成 割合(%)	備考
広域幹線	屋代須坂線への行政支出額(万円)	742	830	---	
	屋代須坂線の収支率(%)	37.0	37.7	101.9	
市内路線	市内のバス全体の行政支出額(万円)	9,900	12,990	---	補助金等を除く
	市内のバス全体の収支率(%)	11.4	10.9	95.6	

第2部.公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び実施結果

2. 目標値に対する令和7年度の実績

③国庫補助対象路線の目標

分類	指標	目標値 (R10)	現状値 (R8.3)	達成 割合(%)	備考
年間利用者数 (人)	屋代須坂線	236,593	191,182	80.1	
	大循環線	50,506	60,947	120.7	
	【デマンド】東部エリア	4,599	5,174	112.5	
	【デマンド】稻荷山・八幡エリア	1,223	1,073	87.7	
	【デマンド】更級エリア	693	674	97.3	
	【デマンド】上山田エリア	700	636	90.1	
行政 支出額 (万円)	屋代須坂線	742	830	---	
	大循環線	2,800	3,260	---	補助金を除く
	【デマンド】東部エリア	1,287	1,954	---	補助金を除く
	【デマンド】稻荷山・八幡エリア	372	401	---	補助金を除く
	【デマンド】更級エリア	216	280	---	補助金を除く
	【デマンド】上山田エリア	207	262	---	補助金を除く
収支率 (%)	屋代須坂線	37.0	37.7	101.9	
	大循環線	8.8	9.8	111.3	
	【デマンド】東部エリア	8.2	7.0	85.4	
	【デマンド】稻荷山・八幡エリア	6.9	6.7	97.1	
	【デマンド】更級エリア	4.7	3.6	76.6	
	【デマンド】上山田エリア	5.4	4.3	79.6	